京城日報

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番 (振替京城三〇二)

米の不賣同盟

京城日報

朝鮮米の內地移入　內地では各府縣の農會が音頭取ご爲つて、頻りに米の不賣同盟ごいふことを唱へて居る。是はいふまでもなく昨年來米價の低落が、農民に痛き打擊を與へつゝあるを、如何樣にかして之を救濟せんごして、此の窮策を案出したものであるが、此の如き同盟は果して實際に行はれるであらうか、甚だ疑はしいものであるが、現に某縣の如きは大地主共が結束して小作人を壓迫し、一石三十五圓以上ならでは斷じて賣るべからずご强制して居るごいふことである。然るにこゝに其の同盟を破壞する强敵が、一衣帶水を隔てた朝鮮に現れ、內地の供給不足に乘じて大移入を開始し、彼等同盟首唱者に大なる恐慌を與へたごいふことは、一寸面白い現象ごいはなければならぬ。聞く所によれば頃日各府縣農會又は帝國農會などから、朝鮮當局に對して、一時米の移出を禁止してもらひたいごいふ樣な照會が續々到來するさうであるが、朝鮮官憲ごしては、內地の米値段を人爲的に釣り上ぐるの窮策に同情して、朝鮮米の移出を禁止するごいふことは、初めから相談にならぬことは知れ切つた話で、今更くど〳〵しく論ずるまでもないし、殊に萬一そんなことでもせうものなら、只さへ供給過多で、値段の一膽に下向きなる朝鮮米價を一層低落せしめ、それがために朝鮮農民を一大苦境に陷れ、果ては中央より朝鮮農民救濟の資金を仰がなければならぬ仕儀ご爲り、飛んでもない結果を現出することになるであらう。

元來米の不賣同盟などいふことは、社會共同生活の思想に反する非人道的のものであることはいふまでもなく、決して利益ある事柄ではない。何ごなれば米の不賣同盟を結び、所藏米を持ちこらへ、値段の回復を待つごいふは、一寸聞けば如何にも理窟がある樣であるが、本來價格の昂低なるものは需用ご供給ごの關係が最も重きを爲すもので、人間の小細工を以て經濟的大勢を左右することは到底爲し得ざるものであることは、少し目の明いた人間は皆見て居る事實である。されば一旦不賣同盟で米價を釣り上げて見たところがいざ賣出すごなるご、また〳〵元の値段に逆戻りすることである。そは兎も角も此の不賣同盟に依つて利益を得るものは農民の全部ではなく、所謂大地主ご稱する大農の一階級に限り中産以下にて大なる影響がないごいふことに注意しなければならぬ。殊に新穀米を眼前に控へ又地租の納期に迫つて居る場合、賣るなご强いても賣らずには居られぬ。或は金融組合等より資金を融通するごいふ議論があるも、到底大多數の農民に行渡つて餘裕を爲す程の力のないことは明白である以上は、如何に苦しくごも自然の趨勢に任かせるの外がない。此の道理を外觀して、只管に不賣同盟を唱ふる大地主共の强慾は實に排擊に値ひするものである。そこで朝鮮米の大移出は彼等の强慾を征伐する義軍ごもいふべきもので、吾等はます〳〵之を獎勵するの必要あるを認むるものである。而して其の結果は朝鮮に於ける需給の關係を均衡に導き、價格の低落を阻止すべく、一擧兩得の擧たるを信ずるものである。

世界主義ご民族主義（五）

貴族院議員 文學博士　澤柳政太郎氏（講演速記）

變に於て一層亞米利加化の運動が非常に熾になつて來た次第でありまして然うして此の運動は今猶ほ熾に唱へられて居るのであります。此の亞米利加化の手段には種々の方法があるのでありますが矢張り其の根本ごしては敎育の力に依つて亞米利加化するごいふことになつて居りまして、先づ米國語即ち英語を話し得ない所の者に向つて其の言葉を十分に習得せしめるごいふやうなことに

全力を注い

で居るのであります。斯の如き狀況でありまして彼等は眞向に世界主義を振翳し然うして此の戰爭に參加したる所の國であるに拘はらず一方に於ては亞米利加魂を其の國民に吹込むことに依つて大いなる力を其處に瀉つて居るのであります。斯の如く一方に於ては人類の殆ご總てが皆く手を携へて政治的に

國際的聯盟

を結んで然うして進んで行くごいふやうな傾向があるかご思ふご其の一方に於ては益〻國民的に……國民的ごいふのは說明する迄もなく國家的の色彩國家的の觀念は勿論國家ごしての其の區畫ごいふものを鮮やかに一層力强くしやうごいふやうな譯は相容れない所の傾向が愈〻旺に行はれて居るご申して宜いのであります、併し乍ら此の傾向は果して相衝突したものであるか怎うか考へやうに依りましては成程衝突したものであり相容れないものであるごいふことにも思はれるのでありますが併し乍ら此の二は必ずしも其の

本質に於て

相悖るものではないご思ふ。國民的の色彩が國民ごしての生活世界の人類ごしての生活、其の生活は時ごして衝突する場合もあるかも知れぬけれごもが、何れの場合に於ても國民の生活ご人類の一人ごしての生活なるものごが必ず衝突するごは限らぬご思ふのであります、是を極めて小さな範圍に於て申したならば一家の內に於て一人ごして

人間ごして

のなすべきこご或は考へるこご、家族の一人ごして行動する所ご時ごして衝突することはあるかも知れぬ家族ごして或は親ごして子ごして若くは夫ごして妻ごしてなさなければならぬごいふことが人間ごしては怎うであるかごいふ、時に衝突することがあるかも知れませぬが人間の道を履んで往くこご夫れが即ち親の道であり或は子の道でもあり夫婦の道であつて二者相兩立し調和する場合も亦尠くないのであります、モー少し廣い範圍で謂ふたならば

自治團體の

一員ごして……朝鮮ごしては然ういふ名稱を用ゐないかも知れぬが市町村の公民ごしての生活ご然うして一私人ごしての生活ごが其間に能く調和を得るごいふことは考へられるのであります、併し時ごして其間に衝突を致すことがあるかもしれぬ、例へば爰に貧窮なる若くは年の豐凶に依つて收入の少ない場合に於ても町村公民ごしては相當の公租を負擔しなければならない。其の時に町村民ごしての生活を全ふしやうごした場合には或は一個の私人ごしての幸福も犧牲にしなければならぬかも知れぬ

三冬吟（其の五）

大正九、十一、三十

冬灯　迦南

○コヽア熱く眼鏡曇らせ冬灯哉　曉生
○玻璃戸透して冬灯及ぶ庭石ぬ　但人
○讀む頰にぬくさや〻冬灯哉　綠童
○床のへの掛子は淋し冬灯　橙黄子
○冬灯の下に親し顔や寄せ合ひぬ
冬燈下羽織光らして誰れ彼れ
冬灯つけば瞬足らぬ我れ

年頭の大阪より（下）

矢野義二郎

●年末の不景氣ご電信爲替　電信爲替局員の談に依れば年末の不景氣なるごきは電信爲替增加し然らざるごきは之れに反すごのことに付試みに二三の郵便局にて電信爲替の取扱ひ數を調査せしに大正八年末よりも九年末の方約一割內外の增加なりき不景氣に際しては內容證明郵便の增加あり又代金引換小包の遣付數の增加することは首肯し得べしご雖も電信爲替の增加は果して年末の不景氣を證する者なりや否や尚大に研究の餘地あり二三の郵便局の調査のみにては俄然の事實なるや否や知れず只一ごして御報申上候のみに候

●京城釜山宛の電報　大阪中央電信局にて最近の調査に依れば近時電報は一般に速達せるものゝ如く大阪中央電信局より京城及釜山宛の電報にして同局に經過時分を調査せしに左の如くに候

京城宛の分　四十五分乃至一時廿七分
釜山宛の分　三十一分乃至一時四十四分

にして大體に於て速達の傾向之有候は大に喜ぶべきことに候但電報の輻輳せし場合及電線に故障有之候場合は右の如くには參り不申候

●日本一の電話使用者　神戸に於ける某電話加入者は一個の電話機にて一期間(三ケ月)に一萬四千八百回以上通話したる事あり即ち一ケ年に五萬六千回以上も使用せるものにして其料金は一ケ年一千百二十餘圓を支拂ふ割合にして從來の使用料六十圓に比すれば非常なる差違にして右の如きは度數制の公平を示すものにして又或加入者の如きは一期間に一回の使用すら之なきものもありき度數制實施後の面白き現象なりご云ふべし

●社交の秘訣！交際の武器

式辭答辭 挨拶演說 **五分間雄辯集**

即 貴兄が自由自在に出來る修練の寶典

各地の靑年團學生に於て雄辯を尙ぶの氣も旺盛になりつゝあり されど平素よく談話する人も一度壇上に立ちて一言半句も出し得ざる人多し之等は修養の足らざる爲にして本書に依り修練せば如何なる素人にても感服する程雄辯家となる本書中には社會百般の宴會集會儀式の席上に於ける演說挨拶答辭等の例を集め其他靑年會の發會集會の場合送別‖退任‖入營‖開業‖歡迎‖招待‖祝賀‖當選‖就任辭‖答詞‖挨拶‖弔辭‖其他數百例の演說式辭を集め五分間の短時間に自由自在に自分の思ふ通り編纂せる卽席演說の修練寶典である△口繪寫眞版十數個入て席上聽衆を滿足せしむる點に著者の苦心を以

ポケット新形三百頁定價八拾五錢 五千部を限り新聞名記入御注文は 特價七拾錢 郵送料四錢
代金引換注文の郵送料十八錢振替東京二三九九六番
發兌 東京市日本橋區新和泉町四 電話浪花一七六番 白羊社

增訂 **朝鮮風俗集**

傳說 迷信 俗謠 童話 其他 歷史 宗教

京城本町 ウツボヤ書店

職業

專賣特許品簡單優美適近男女自宅出來る半年中無休道具一切貸與シ月末賞與金歩合有製品永久買受ス
熟練日三圓位　說明見本無料
特約店大募集
大阪天王寺大道一丁目三九一八 豐國商會

條件付の投賣

時計に迷ふ方は見よ

時計商でさへ驚く時計の投賣

正十八金時計

當商會の時計は已に定評あり豫想外の賣行御禮の爲め特に百個限り時價半額に近き

金貳拾九圓五十錢投賣

返金を立証す

實見の上不向の時文は他店ご廿圓の差額無時は

遠方は御引越次第居宅に持參小包にて破損なき樣送る

東京築地小田原町四の六 工手學校隣 合資會社 ストロング商會

振替口座四五六〇三

自動車界に志す人は先づ本校の理想的設備と運轉修繕教授振を見よ

東京 **日本自動車學校**

詳細はハガキにて申込次第學則を送る

●直賣投賣の急先鋒●

マントが卸値段で買へる

直製直賣●小賣部の開始

昨年末の財界不況で資金は集らず當居は昨年來防寒綿紗マントの卸商專業致し居候處何れも二割以上安く卸値段を以て投賣提供任り候

卸問屋 丸三商店
東京市本郷區東片町一〇三
電話小石川三四四八 振替東京二三九五七番

燃料！

結氷の御用意は

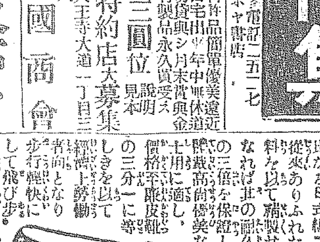
貯炭豐富に付御用命願上候

官製煉炭　粘土入(二ツ穴)(三ツ穴)　一開城以北
岐陽煉炭　ピッチ入卵形(一手販賣)
長水院無煙粉炭
岐陽無煙粉炭　一手販賣

平壤本町 朝鮮商工株式會社

◆價格至廉◆堅牢無比◆德用向◆
◎最も完全せる **總ゴム靴**!!!
晴雨兩用の最適品

近來皮靴は非常の高値を稱へボックスの如く粗末なものでも七八圓位する、ソレで三ケ月しか使用に堪へぬでは甚だ不經濟ではないか、茲に發表する當店製造の總ゴム靴は時代の要求により新たなる科學の發明で比なきS式總ゴム靴で從來ありふれたるズック製靴ゴムの類でなく、極めて純良の原料を以て精製せる總ゴム製なれば其の耐久力は皮靴の三倍を保證し得られ優美高尙なれば紳士用に適し、價格至廉皮靴の三分一に等しきを以て勞働者向となり步行輕快にして飛び步くが如く、特に本品は縫目無きを以て雨の中等泥土の中に入るも水の浸入する憂なく汚るれば水洗が出來る極めて便利重寶のものであるから從來の使用せられつゝある樣な重くて不便なオーバーシユー等を用ふる必要は絕對にない、殊に春先の散步、旅行、運動用として好適の逸品である、特に今回は賣物廣告のため五千足を限り左の卸値段を以て一足より御注文に應ずる事とせり、御注文の節足袋の文數記しハガキにて御申越あれ



卸値段　特四圓二十錢　甲三圓五十錢
　　　　乙二圓五十錢　並二圓八十錢
　　　　（一足にても注文に應ず）

東京市日本橋區本石町一ノ十　關谷商店ゴム部

學と設計　機械

製圖通信教授

有信用厚き帝國唯一の學校遠地も個人的指導■感謝狀山の如し

規則要三錢
通學は夜
敎授は大阪市
北區川崎町
製圖學館

刑事專門辯護士　本木房吉

京城府黃金町三丁目二十番地（大阪ドラック東側小路入ル）
電話長二四一三番

正月

何處の御家庭でも歌留多が大流行です。喰べ過ぎ飲み過ぎも亦大流行です。
ホシ胃腸藥をお服みなさい
ホシ胃腸藥は小氣味のいゝ程胃腸病には効きます。

ホシ胃腸藥

定價 廿錢 五十錢 一圓

資本金壹千萬圓
東京京橋
星製藥株式會社

南行　北行

ポスト紙の海軍協定 日本の態度に論及

【英國某所著電】一月八日のモーニングポストは其社説に於て『海軍協定』の標題の下に英國は米國を恐るゝのあまり英佛協定を遂げ米國に對抗せんこしつゝありこの論獨逸に於て専ら行はれつゝありこの報道を引用し其全く無根なる事を嗤ひ更に日英米間に於ける海軍協定の望ましき事を切言しタトヒ協約の形式を以て之を成立せしむる事能はずこするも關係各國間の紳士協定にて使つべしこ論じ尚ほ日本には侵略的軍閥の政策に反對する有力なる分子ありタトヒ海軍競爭をなすとも米國に對抗匹敵し能はざるは林男の證言に見るも明かにして日本が此際海軍協定に參加するは同國にとりて最も賢明なる策なるべく若し各國が海軍協定に反對せば米國は世界に於ける最有力なる海軍國たらん海軍卿ダニエルス氏の言明通りなりこ言へり(東京電報)

日米開戰せば？ 上院議員對策を說く

本日の海軍委員會に於て上院議員バルン氏は日米戰爭開戰準備對策に關し論じて曰く『日米せば日本海軍は智利を封鎖し米國に對する硝石の供給は遮斷せらるべし米國は今日之が對策こして硝石會社を起すの必要あり』こ(紐育十日發電)

テキサス排日協定

昨日當地米國在鄕軍人會分會長イッカート氏は當地在留日本人代表者こ協議の結果を發表したり右によれば日本人は五月一日以降テキサス州より引揚ぐる事に同意し今後日本人がテキサス州に來る事なき樣十分努力すべき事を約したりこ有在鄕軍人會役員は當地に居住し居れる東洋人の戶口調査を行ひ居れり(アラサン九日發電)

駐日大使更迭か ヴァンダーリップ氏呼聲高し

クラスクアール、ヴァンダーリップ氏(嘗て日本に來遊したる人)は次期大統領ハーヂング氏により日本駐剳大使に任命せらるべしこの呼聲高し(マリオン十日發電)

米國財界回復期 確かな所は五六月頃

米國財界を視察中なる某實業家より其の筋への來電に依れば米國財界の前途に就ては悲觀樂觀の兩說に分かれ居れり氣早の者は三月に入らば景氣は回復すべしこ稱し居れるが確實なる意見こしては五六月頃こ云ふに一致せりこ(東京電報)

ダ氏文學に還る

ブリエール、メーラベラ新聞の所報によればダヌンチオ氏はヴエラスに居を構へ昔日の如く文學の研究に從事する心算なりこ(アジアン十一日發電)

露伊の通商交渉

露國側の報道に依れば北京にある極東共和國代表こ伊太利この間に通商條約締結の交換進捗し正式交渉開始の暫同時にシベリヤ開發を目的こする露伊合辨シンジゲート設立の筈(北京十二日發電)

佛農務卿更迭

農務卿リーカール氏は佛國上院議員選擧に落選し內閣を辭職せり農務大臣には食糧次官たりしツーミール任命せられたり(巴里十日發電)

印度に大暴動

印度土人の大群集ライバレー附近の市場を襲ひ其形勢最も危險に見ゆたるを以て陸軍將校は巡査に發砲を命じ土人四人を殺し二人を負傷せしめ尚ほ數名を捕縛せり其の後暴動は益々擴がりアルハバットの西北五百哩のサルタンプル迄及び警官は全く鎭壓の力を失ひ爲に軍隊の力を以て暴徒六百を捕縛せり(アルハバット十一日發電)

農民黨の勝利 憲法會議上員選擧結果

チョコフ氏の政綱を支持する共產黨所屬候補者は數に於ては最も多きも農民黨のため壓倒せられたる模樣あるを以て選擧の結果は農民黨の勝利に歸したるなるべし而して來る二十五月頃多……

新印度總督

駐米英國大使レーヂング氏は印度總督に任命されたり(倫敦十一日發電)

武市の近狀

ブラゴエより來哈せるものゝ談に依れば黑龍省の農民は全く食料燃料の販賣をなさゞるため勞働者は物資の缺乏に苦しみ居れり企業の一部はイルクツクに移られたるが大部分は支那商人の手に歸したり(哈爾賓十二日發電)

支那南北風雲急 北京政府の陸榮廷援助

北京政府は廣東政府こ意思疎通失敗の結果愈陸榮廷を援助し民黨を討たしむるに決したるが如く既に陸に對しては軍費彈藥の供給契約を結べりこ傳へらるそれかあらぬか過般來入京中の陸の代表者陸裕光は保定にある曹錕を說き民黨討伐方針の打合せに沒頭し一方陸は馬濟陳光遠等を討伐司令こして正式に任命せん事を北京政府に請求中なりこの報あり陸の民黨に對する方針が漸次全局的に進展するに至り一方民黨派の活動又目覺しく武漢地方には昨今多數の黨人潛入し軍隊を煽動して湖北督軍王占元を驅逐して武漢攻略の計を樹て湖北西部にある藍天蔚は一萬の兵を率ゐ既に七日來湖北軍を攻擊中なりこの報あり(上海十二日發電)

廣東政府改組案

廣東政府は非常國會に於て現在の代表者を廢し大總統を選擧すべし(上海十二日發電)

食糧政策答申案 財政經濟調査會の決議

臨時財政經濟調査會は十三日午後引續き開會討論を續行する所あり結局採決の結果五對二十二票を以て特別委員原案を可決し次いで答申案第七及び第八項を附議したるに異議なく可決し之にて食糧政策に關する件全部を議了したり答申案左の如し(東京電報)

第一條 耕地の擴張に關する方策
(一)開墾助成法豫算額を增加し開墾助成計畫を擴張すること
(二)北海道に於ける耕地事業促進を計ること
(三)大規模の開墾事業にして民間に於て其の實行困難なるものに對しては國庫より相當の補助をなし又は之を國營とすること但し必要に應じ國營工事に依る開墾地を地方民に分讓すること
(四)左の事項を內容とする規定を設くること
(イ)開墾適地の所有者に對し一定の期間內に之を開墾すべきことを政府に於て勸告すること
(ロ)土地所有者が其の勸告に從はざる時は政府は相當の價格を以て其の土地を收容し自ら之を開墾し又は適當の事業者をして開墾せしむること
第二條 耕地維持及び改良に關する方策
諸般の施設及び改良工事は農家之を行ふ場合には國庫より相當の補助を交附すること

陪審法案の前途 今議會提出は不可能か

今回の帝國議會に提出せらるべき陪審制度は既に樞密院に廻附せられ同院にては特別委員を設け之が精査をなさしむる事こなりたるが右委員の顏觸中には金子堅太郎、倉富勇三郎、有松英義、南部甕男、平山成信の九氏なり委員の申請に關し法制局委員に於て陪審制度に贊成を表し無理にも其通過を圖らんこせるも樞密院特別委員の顏觸より察するも樞府中心勢力の同案に對する意嚮を推測するを得べき一材料こも見るを得べし而して樞府特別委員に選定せられたる委員の陪審制度に對する贊否の採決を見るに伊東、金子、安廣、有松、平山諸氏は反對意見を保持し贊成者は倉富氏外一名位に過ぎず故に右顏觸より見れば陪審制度が樞府委員會を通過する事は殆ご期すべからざる事にて政府側にては此の顏觸を見て深く憂慮しつゝあり。元來樞密院の慣例こしては特別委員會の決定は同院の最後の決定こも見るべき者にして今日迄は特別委員會に於て決定して本會議にて覆されたりこ云ふ事は更になく故に若し委員會に於て否決さるゝ如き事あらば本會議に廻附さるゝ見込全くなし然れごも樞密院に於ては政府の政綱の一部こも見るべき重大法案を否決するは容易の事に非ざるを以て其點は大に考慮するに相違なかるべく從つて幾多の迂餘曲折を經たる後結局同法案を通過せしむるに至るかも知れず其の際には原案に對して一大修正を加ふるは必至なるべく而して樞密院を通過しても其の議會に對する廻附甚だしく遲延し遂に議會に於ても其の議決を長びくべき爲め議會に於て審議未了の儘に終るやも知れずこ豫想せらる(東京電報)

常平倉案可決さる

財政經濟調査會總會に於て常平倉に關し効果の不徹底標準米價決定の弊等より反對意見續出したるが採決の結果二十二對五票にて委員會の決定通り可決し午後三時散會せり(東京電報)

借家法案提出

借地法案及び借家法案は今期議會に提出せらるゝに決定したり常平倉案も其の提出を見る事確實こなれり(東京電報)

演說綱領決定 首相と藏相

去る十一日の閣議に於ては來る二十二日貴衆兩院に於てなすべき高橋藏相兼首相の施政方針演說並に當日の演說綱領を決定せり首相の演說は陪審制度及び常平倉に關し說せるものなる由(東京電報)

大藏証券 二千萬圓發行

政府は製鐵所運轉資本補充の爲め大藏證券二千萬圓を發行する事に決定し其の旨十三日の官報を以て發表すべく發行期日大正十年十一月十五日償還期日大正十一年七月十五日利率日步一錢六厘なりこ(東京電報)

社會事業調査會官制

內務大臣は十三日の官報を以て左の社會事業調査會官制を公布せり(東京電報)

社會事業調査會官制規定

第一條 社會事業調査會は內務大臣の監督に屬し社會事業に關する事項を調査審議す
第二條 社會事業調査會は關係各大臣の諮問に應じ社會事業に關する事項につき關係各大臣に建議することを得
第三條 社會事業調査會は會長一名委員三十名を以て組織し特別の事項につきて調査すべき必要ある時は臨時委員を置く事を得
第四條 會長は內務大臣を以て之に充て委員及臨時委員は內務大臣の推薦により關係各省高等官及學識經驗あるもの、內より內閣に於て之を命ず
第五條 會長は會務を總理し會長事故ある時は內務大臣の指名する委員之を代理す
第六條 社會事業調査會に幹事若干名を置き內務大臣の推薦により內閣に於て之を命ず幹事は會長の指揮を受け庶務を整理す
第七條 社會事業調査會に書記を置く書記は內務大臣之を任命し會長及幹事の指揮を受け庶務に從事す
第八條 會務による委員及臨時委員の旅行には旅費を支給し明治四十四年勅令第百六十一號第一項乃至第三項の規定を準用す
明治三十七年勅令第二百六十三號救濟事業調査會の規定は之を廢す
附則
本令は公布の日より之を施行す

賃銀引下實行

八幡製鐵所にては本月十二日より新に採用すべき職工の初任の日給二十錢方引き下げを實行する事に決定せり(八幡發電)

萬國學士院會 出席者決定

帝國學士院例會は十二日午後開會故末松謙澄氏の補缺こして東京帝國大學教授文學博士松本亦太郎氏を會員に推薦し又來る五月ブラッセルに開會さるべき萬國學士院聯合會議へ代表參列者こして東京帝國大學教授文學博士三上參次及び法學博士岡松參太郎の二氏當選せり(東京電報)

海軍戰病死者 七百名敍勳

大正七年印度洋及地中海方面に出動したる海軍戰死者及病者七百四十三名に對し十一月二十日付敍勳十二日發表せられたり(東京電報)

兩代表內定

資本側 星野錫氏
被傭側 里見純吉氏

第三回勞働會議に出席すべき資本家代表者は人選中なりしが愈東京實業組合長星野錫氏に內定したるが次回の閣議にて正式に決定すべし又被傭者側代表者は三越呉服店秘書たりし里見純吉氏に決定すべき模樣にて氏は十三日中に東京商業會議所會頭藤山雷太氏こ同道し山本農相に會見し其結果星野氏同樣次回閣議にて正式決定の段取こなる

現物市場の整理 共通的營業規則脫稿 當局の許可方針如何

昨年四月總督府に於て發布せる市場規則に依り全道各地より總督府に出願に係る穀物現物取引市場に就ては目下審議中なるが總督府に於ては先づ之等に對する共通的營業規則を定め之に依つて各地出願市場の營業細則を考覈して許否を決定する事こなり居たるが右共通的營業規則原案は本月脫稿したるを以て主務課に於て愈兩三日中より審議を開始すべし右に就き

某當局者は

語りて曰く『朝鮮に於ける穀物市場は從來據るべき法規なく隨意隨所に開設し單なる現物の取引の營業を爲し來つたもので其營業の範圍で無くして取引所類似の事も行ひ來つて居たのである之等市場に於ける營業上の規則も詳細等の如くに相當完備したものもあるが多くは理事者が任意に適當の慣習に依つて取引を行つて來たのであるが斯の如きは當局の監督上にも不便多く殊には取引所令等の制定も無い朝鮮の現狀では之等の市場が簇出して

取引所類似

の行爲を營む事は何等かの方法を以て取締る必要上大正九年四月市場規則を發布し右規定中に從來穀物市場を營業して居るもので引續き市場の經營を爲すものは六月末日迄に定款及營業細則を具し認可を總督府に申請せしめた結果全國二十有餘箇所の出願をなつたもので前述の如く之等多くの市場が一定の完備した營業規則なく出願に就て俄に營業規則を急造した關係上規定區々で從つて監督上準據すべき法規を必要こし今日迄之が制定起案を行つて居た譯である原案も既に出來した事であるから審議の上決定に至らば之に依つて各出願市場の營業細則を更改し

土地の狀況

なごも考慮し一々完全なる細則を總督府にて造り最後に許否の決答を與ふる筈であるが二十餘箇所に對し總て之を認むる事は或は之無きものと思ふ元來穀物現物市場の如きものは朝鮮に於ては好景氣時代に亂設された傾があつて大いに整理すべき時期に際會して居る今日である內地等に於ても今日朝鮮に於ける如く多くの穀物現物市場を持つて居らぬのであるこ云々

久保田天南氏試筆

大正親睦會の活動 內地人會員歡迎＝進んで日鮮融和に努力

大正親睦會は大正年中に組織せられ故趙重應子が牛耳を取つて專ら內鮮親和に努めしことは世人の知る處であるが成立以來未だ之れぞと云ふ活動をなさゞりし中に騷擾事件が起り尋で趙子の薨去となつて同會は殆ご

有名無實

の有樣になつて居たのである、現會長閔泳綺男及び幹部連は深く之を遺憾こして過般來數次會合を重ねて會の發展策並に活動の方法等を協議した結果いよいよ行動を起すことになつて昨十三日新年の宴會を兼ねて會員の大會を催し同時に內地人の有力者をも招待することになつた本會は本來朝鮮人ばかりの團體であつたが今後は內地人をも會員に入れ朝鮮人と共に進んで內鮮融和を促進するの働きをなさんこして居る從來內鮮融和こいふことは內地側からのみ唱道されて居たのを今度は朝鮮人側より

自發的に

促進せんこするのであるそうな、會の事業こしては種々の計畫がある樣であるが之は追て報道することにして此には主義綱領及び役員の氏名を掲げるに留めて置く

主義

本會は實力養成を主唱し內鮮人の融和を計り東洋全民族の繁榮康寧を期するを以て目的こなす

綱領

一 內鮮人互ひに親睦して德業相勸め患難相救ふ事
一 產業の發達增殖に努力し生活を安固健全にする事
一 教育の普及に努力し文化の向上に貢獻する事

役員

會長	男爵 閔泳綺
副會長	趙鎭泰
評議長	韓相龍
理事	芮宗錫 外十四名
評議員	白完爀 外二十九名
顧問	侯爵 李完用
同	子爵 閔泳徽
同	男爵 李允用
同	松永武吉
同	美濃部俊吉
同	加藤房藏
同	有賀光豐
相談役	白完爀
同	齋藤禮三
同	釘本藤次郎
庶務部長	未定
調度部長	朱性根
事業部長	權丙夏
調査部長	全聖加
社交部長	未定

現今の支那(上) 布施知足氏談

北京英字紙北支那正報主筆

一 各國の競爭

よく人の云ふことであるが、支那の眞相は容易に判らない。物事に裏に裏があつて其の裏こ云ふものを十分に見極めるこ云ふことが、面倒臭くもあるし又實際六ケしくて出來難いのである其上支那に對する他の各國の狀況を見るこ、各國の間に競爭こか嫉妬こかが割合に多くつて、取るべき筈の協調を故意に外して一國だけで獨立の仕事をしようこ云ふ樣な考へが脫け切らないので、益支那の事情が複雜になつて居る

二 日本の信用

私が彼の地に行つて第一に感じたのは日本人が何も支那に對して信用が薄いこ云ふことである、日本の公使が斯う云つた、こ云つても十分信用しない。是は以前から色々の因緣があるからであるが、之が爲め時々の突發事件の跡始末なごには公使も餘程苦しむのではないかこ思ふ。兎に角もう少し日本の信用を高め日本の誠意を徹底せしめることが必要であらう

三 我が軍人

北京には青木中將が居るが、あの人は大總統擁護派で安徽派にも直隸派にも偏らない方針に見受られる。夫れから阪西少將此の人は、樋劉等の例の參戰軍を作つた關係もあり、安徽派であらうこ想像せられるけれごも、餘り喧しい議論をせず、人目を惹く樣な活動をしないので、世間からも格別彼是云はれない。もう一人の東少將、此の人は曾て『安徽派を勝たせた方が日本に取つて有利だらう』こ思ふこ云つたことがある。之だけ云へば東少將の主義は明白になるであらう。安徽直隸兩派の衝突の際には日本政府が支那內政不干涉主義を標榜して居た爲め十分安徽派に助力をすることの出來なかつたのは少將に取つて殘念であつたに違ひない。

四 誤れる對支策

私の考へでは、日本の或る方面の人々の支那に對する方針には多少誤つて居る點がありはしないかこ思はれる。夫れは中央の勢力こ云ふものを重く見過ぎては居ないかこ云ふことである。或る一黨一派を援助して其の力に依つて、自分の思ふ所を行はうこ云ふ政策は、夫れが出來さへすれば最も善い政策であるけれごも、實際の處今日の支那では不可能である。例へば安徽派なら安徽派を助けたこ云ふことは其の人の活眼こ稱し得るのであるけれごも、實際の處今日の支那ではさう云ふ手段は施し難くなつて居るのである。

通信收入 頗る好況

大正九年度十一月分通信事業收入は五十三萬四千九百十二圓にして豫算に比し七千三百五十八圓(一分)を超過し前年度同月分の收入に比すれば二萬二千八百七十九圓(四分)の減收なるも十一月迄の收入累計は五百三萬五千七百卅三圓にして豫算を超過する事四十四萬九千三百圓(一割)前年度同期の收入に比し五十五萬二千四百七十七圓(一割二分)の增收こなれり

印紙收入減少

大正九年度十一月分印紙收入は六十四萬六千三百四十圓同月迄の累計は五百五十二萬三千五百五十四圓にして前年度同期の收入に比すれば十一月分は十萬九千百十八圓の減收こなり累計に於ては三千五十八圓の減收こなれり

水道擴張延期

京城府水道課に於ては豫て京仁水道擴張の計畫ありて昨年八月頃水力發電所を京畿道漣川郡所面新番里に設置し理論馬力二千二百六十五馬力京城到着馬力一千二百七十四馬力を工費二百五十七萬圓にて工事設計書を總督府に提出し大正十年度豫算に計上方を申請せるも各方面の歲出多額にて本計畫は延期せられたり

帝國の咽喉に稅關吏大增員 不逞鮮人取締の爲

近來不逞鮮人及是等こ氣脈を通ずる某外國人等が帝國の咽喉たる關門の警戒を犯し內地に入込み又は聯絡を取り何事か畫策せんこする形跡あるより是が警戒取締の爲稅關員を任用するこことなり門司稅關にては稅關吏の大增員を行へり(下關特電)

府豫算打合せ

十三日午前十時より京城府廳に於て齋藤府尹澤村北村兩事務官其他各課長參會十年度京城府豫算の打合せをなしたり

政府委員 水野總監以下今朝東上

政府委員こして帝國議會に列席すべき水野政務總監は半井文書課長以下隨員を隨へ十四日午前九時四十分南大門驛出發東上の途に就く筈なるが河內山財務局長も亦同行すべし

內務局長發期 十五日夜

政府委員を命ぜられたる大塚內務局長は十五日夜出發東上の豫定なりこ

大正親睦會大會

大正親睦會では十三日午後三時から京城ホテルで新年宴會を兼ねて大會を開いた內鮮會員二百餘名の外來賓こして水野政務總監以下主なる官民も出席デザートコースに入るや閔泳綺男の謝辭があり非常なる盛況の裡に散會した

山縣關東長官

山縣關東長官は十二日正午奉天出發下關に一泊の上十三日朝發東上すべし

保線手講習會

京管局にては昨年多大の効果を收めたるに鑑み本年も來る廿五六日頃より約六週間の豫定を以て全線の保線手を召集し工務課職員より教授の任に當り鐵道學校に於て講習會を開始すべしこ

產業博と朝鮮 總督府の出品勸誘

本年三月二十日より同五月二十二日迄京都市岡崎公園勸業館に於いて京都博覽協會並に京都美術協會聯合主催の下に開催すべき內外產業博覽會は汎く內外各方面の製產品を蒐集陳列し之が比較研究を爲すこ共に一面製產の改良こ販路擴張を圖り國の增進に貢獻する主旨なるを以て朝鮮總督府は右は頗る機宜に適したる施設にして當業者は勿論一般出品者に多大の裨益を與ふべきものこ認め今回各道知事へ出品勸誘方通牒を發したるが當業者は道廳に就き規則等熟覽の上該會の主旨を體し奮つて出品を望むこのことなり尚出品は直接同會宛に申込むべしこ

教科書會議(第二日)

教科書調査委員會々議第二日は十三日午前十時半より總督府第二會議室に於て開催し水野政務總監委員長こして之を統裁せるが前日通り各委員出席、齋藤總督も例によりて閉會前より臨席し昨日に引續き新に編纂すべき教科書に關し審議を重ね午後三時閉會せり

殖鐵特等車運轉

西鮮殖產鐵道株式會社に於ては十五日より沙里院載寧間に特等車を運轉開始する事こなりたるを以て豫て中止しゐたる朝鮮鐵道線特等聯絡乘車券を同日以後殖鐵聯絡各驛に於て發賣すこ

辭令

帝室林野管理局技手 澤田忠太郎
任朝鮮總督府營林廠技師(七等)

新義州警察署 加々尾鐙太郎
任朝鮮總督府道警視(六等)
補[illegible]警察署長

山梨縣技師 加藤正擴
任朝鮮總督府技師(三等)
殖產局勤務を命す

總督府屬 吉留直哉
兼任總督府事務官(七等)
京城府在勤を命す

總督府檢事正六位 遠藤鐺
陞敍高等官三等敍從五位

道書記從七位勳八等 野村清彬
任郡守(七等)

陸軍騎兵大尉正七位勳六等 鄭袋鴻
郡書記 金相館
道書記 李館鎔
同 白定基
郡書記 河泰瑞
道警部 朴鎭英
道書記 曹正煥
任郡守(八等)

退職判事從六位 石井敬太郎
任總督府判事(五等)

總督府判事 川西文夫
任總督府檢事(六等)

裁判所書記兼通譯生 李植準
同 李孫斗
任總督府判事(七等)

山林技手 井岸正
任營林廠技師(七等)

李東雨
任郡守(八等)

總督府檢事 遠藤恪
郡守 吳國泳
依願免本官

同 河泰瑞
咸鏡南道在勤を命す

判事 城數馬
同 原嶋十藏
同 石川正
同 淺田賢介
判事懲戒委員を命す

同 永沼直方
同 横田俊夫
同 塚原友太郎
同 野村調太郎
判事懲戒豫備委員を命す

編修官 小倉進平
教科書調査委員を命す

人事消息

▲池田關東軍參謀 十二日來城
▲田邊氏(陸軍技師) 航空隊工事視察の爲十四日平壤鎭南浦地方に出張の筈
▲河合治三郎氏(京管局經理課調度主任) 沿線に出張中の處十三日歸城
▲大山清松氏(鐵道隊司令部高級副官) 十二日發北鮮地方に出張
▲久保要藏氏(京管局長) 病氣引籠中の處漸次快方に向へるも猶數日靜養を要すべしこ
▲後藤殖產局次長 十二日夜釜山乘船歸東
▲內田鑛太郎氏(株式會社明治屋取締役、京城支店長より橫濱本店へ榮轉) 十三日午前發列車にて家族同伴赴任
▲竹內嘉次氏(三越京城支店長) 十三日夜發列車にて事務打合せの爲め東京本店へ滯在約二週間の豫定
▲佐藤朋陽氏(農學博士) 朝鮮ホテル滯在中の處十三日正午發列車にて釜山へ下車の上商況視察の爲め內地へ
▲小西交之進氏(ラサ島燐礦株式會社工場長) 同上
▲上田東拓京城支店長 十二日夜來城す
▲安井東拓金堤支店長 十二日來城
▲赤木萬次郎氏(平壤中學校長) 十三日朝歸壤
▲高橋京之助氏(辯護士) 東上中の處十三日朝歸城
▲丸山鶴吉氏(總督府事務官) 十四日出發、密陽、晉州、馬山方面へ往復五六日の豫定にて出張
▲馬場次男氏(東亞煙草常務) 十二日夜歸城
▲原田貞吉氏(步兵中佐) 今回第二師團參謀より朝鮮軍司令部副官に轉補十三日朝釜山上陸十一時二十分發北行(釜山電報)
▲佐々木志賀二氏(代議士) 同上
▲竹內友治郎氏(遞信局長) 遞信事務視察の爲三十日の豫定にて十日京城出發

船舶職員試驗(仁川)

……事出張所に於て來る二月十日より定期船舶職員試驗を施行の……

滿商重役會議(滿洲)

滿洲商……株式會社協成銀行……

協成銀行總會

……任の件は去る一月十四日附を以て……
社安東株式商品取引所の役員就任の件……

滿鐵の寒稽古

……に依り驛通に行ひ來會者一同に……

二等六十八名三等三百三十一名 十二日夜入港の景福丸上陸船客 一等(三名)……

財界變動の朝鮮產業界に及ぼしたる影響

影響少き木材界

總督府山林課長 田中卯三氏談

財界好況にして各般の事業勃興の際は林業も亦相當殷賑を極め木材業者又は礦業者にして

國有森林產物の特賣

を出願せるもの尠からざりしを以て當局に於て實地調査を了し將に賣却處分を爲さんとするに當り財界變動の結果是等願ひ人中願意を拋棄せるが爲め賣却中止の已むなきに至りたるもの二三に止まらず林野及び林產物の公賣に際しても入札不振にして豫定の賣却收入を擧ぐること容易ならず又

國有林の貸付

を受け造林を爲さんとする事業家中にも豫定計畫を縮小するに至れるものあり又一方銀相場の暴落と輸入税の廢止とは安東材の鮮內輸入を容易ならしめたる結果當林材の賣行甚だしく減殺せられ特殊のものを除く外は殆ど商勘絕無の狀態となりしを以て十一月五日大體左記標準に依り木材價格の値下を決行せり

原木の部（賣却地新義州）

樹種	材別	値下標準
紅松	丸、角材	一割九步
同	同上	一割六步
杉松	丸太	二割
紅松	同	[illegible]
落葉松	同	五步
同	電柱	[illegible]
杉松	小丸太	同
紅松落葉松	小丸太	同
ドロノキ及シナノキ	○	一割
朝鮮山ナラシ	○	[illegible]

製材の部（○は割標準）

樹種	材別	上	中	下
紅松	挽材	○	五	二、五
杉松	同	○	○	二、五
落葉松	同	○	○	二、五
紅松	小割木	○	○	一、五
杉松落葉松	同	○	○	一、○
紅松	板材	一、○	一、○	二、五
杉松	同	○	○	二、○
紅松杉松	木摺	○	○	一、五

以上の如き狀態なるも一定計畫の下に使用されつゝある鐵道枕木の如き特殊材は差したる影響を受け居らざるが如きも他の材種に付きては多大の反動を蒙り其の木材界に及ぼしたる影響僅少ならざるが如し（終）

地方税賦課

從來漁業税及び船税は國税なりしが來年度より地方税を賦課する事となりたる爲め平安北道にては目下地方課に於て其の賦課規則制定中なりと（義州）

柞蠶絲動く

安東市場に於ける柞蠶絲は昨大正九年末に於て日本著商標物五百九十五圓乃至六百圓の相場を持續して越年したるが一月に入り六七日頃より邢々マバラの買物入り込み八圓に入り商標もの二百梱、無商標物百梱の手合せを見たるが買手は興東公司の百五十、竹本商會の八十マバラ買七八十梱に達し相場は三百七十兩より三百九十五兩に昇進せり即ち三百九十五兩とする時は日本著五百九十圓見當にして歲末と殆ど大差なきものなるが仕向け地は內地の機業地たる金澤、福井岐阜等なり其の買氣を煽りたる主なる原因はクリスマス後に於て米國より値頃惚れにて絹紬の註文入り込みたる爲にして當分六百圓內外を持續するものと測せられつゝあり一方工場側如何と見るに支那町に於ける有商標物の製絲工場にして職工百人以上を使用する工場は二十五戶あるも原料高工賃其他の關係より金融力を擧げ居るもの一戶もなく何れも二分の一位の製絲をなし居れり原料繭の出廻りは精確なる數字の知るべきものなきも某當業者の調査する處によれば昨年十月以降最近にての出廻りは約二萬二千〇〇七簏見當にして內商談成立したるものは三千簏內外の少數にあらずと云ふ隨つて一時三百個以上の商談を見る時は直に品拂底を告げ支那人工場は一般に賣り惜みをなし價格も相當強含みの商狀を呈したり（安東縣）

浦項鰊豊漁

慶北迎日郡浦項の鰊漁は客臘三十日より愈盛漁期に入りたるもの、如く新春二日は大群を爲して來游し灣內は一面に乳白色を呈するに至り浦項開闢以來の大豐漁にて斗湖里漁場のみにても四千同（八百萬尾）の漁獲あり去る七日迄に迎日郡東海、浦項、面江、滄河の四面に水揚げされし總數一萬五千同（三千萬尾）と稱せらる價額は前年財界の好況期に於て一同七八十圓を稱へしも本年は漁獲の初期に於て三十圓處を鯽り六日の如きは遂に十七八圓を唱ふるに至れり尚八日は再び三十圓に持直したれども地方金融の梗塞にて現金取引少く輸送は鐵道の能率不充分の爲め主として海上輸送をなし鐵道便其の他の陸上便は海上の約十分一弱なるが浦項の漁業者仲買人は灣頭に鰊の山を積んで中々を微るやら今後の不漁を希ふやら全く例年に見る事の出來ざる奇現象を呈し居れり（大邱）

舊臘南浦金融

內地米價の大勢軟調を傳へられしため地場取引幾分手控への姿なりしが各地方米の三十五圓以下不買同盟問題起りし爲俄然氣配好調に向ひ東京阪神長崎方面より白米玄米小麥大麥に對する注文頻りに來りしを以て糶玄米麥豆類の地場取引殷賑を極め之れか買付資金並に移出爲替資金の需要相當起り一般取引活氣つき金融亦小緊を呈して越月せり次に輸移出方面を見るに一時軟弱なりし米價は月央後漸次引返して氣配、稍好調を呈するに至りし爲め內地よりの注文輻輳したるが原料貨は資金並に神戶大阪長崎方面向け白米玄米大豆小豆小麥移出荷爲替資金の需用相當喚起せられたり尚

本年は例年に比し氣溫暖かなりしが爲め地方よりの出荷旺盛を極め埠頭には糶玄米の山積せらるゝもの尠からず取引相當盛況を極め相場は月末糶日の出一貫匁四十六錢玄米廿四五圓白米二十八九圓を唱ふるに至れり大豆は著しく商況沈靜の狀にて一時は八九圓迄落ち込みたるが最近に至り大連銀塊の騰貴と米價高に連れ十二三圓處を示し小麥は製粉原料として幾分の買ありたるも相場保合ひ月末十一圓處を示したり其他雜穀は纏まりたる取引なきも輸移出

市況の改善に依り此方面に對する資金相當緊化を極めたり現に輸移入方面を見るに支那粟は久しく閑への狀態なりしが月初天津に積出を見て在荷を一掃したるがため地場渡底を感ずるに至れり小麥は製粉原料として滿洲より相當入荷を見爲替決濟資金の需用を見たり綿絲布糶粉類は時機に入りたるも賣行き渉々しからず此方面に對する資金は比較的閑散を免れざりき（鮮銀鎭南浦支店調査）

取引所税設定と仲買の課税對策

金額課税は正に致命

新設せられたる取引所課税問題は既に否むべからざる事實として大正十年度より其實施を見んとするが之が發動を餘儀なくさる、取引所並に仲買人の影響打擊が果して那邊に迄及ぶべきかは一つに其の課税方法の如何によりて決するものにして不安に襲はれ乍らも速かに內容の決定を期待されつゝあり唯今日に於て遽に其前途を豫想し得ざるも大體に於て內地課税の方法に準據すべきは否むべからざるものあるべく此の曉に於て最も蒙るべき打擊の甚大なるは仲買人にして或は之が爲め起つ能はざる苦境に沈淪するやも保し難しと今や仲買を擧げて本問題に就て深憂しつゝあり試みに之を現今行はれつゝある內地取引所に於る課税に觀れば仲買人の取扱へる賣買石數の總價格に對する萬分の五を徵收しつゝあるが之を採つて以て直に朝鮮に應用實施せらるゝ事あらんか民度、經濟に於て尚は格段の相違ある新領土に在りては正に納税者の死命を制せらるゝものと謂はざるべからず之を以て仁川取引所仲買人は事の未だ決せざるに先立つて其の苦衷を述べ總督府當局の同情ある考慮に俟たんとし之が對策に就て凝議しつゝあり而して之に就て仲買側の希望として一有力者は曰く取引所税の新設は已むを得ざるも唯其課税の合理なるが故を以て何等其事情に在る事を諒認せらるゝも唯其課税の實態を顧慮する事なく出來得る限りの誅求は考慮を要すべし內地に於る仲買に對する金額課税の方法を直に朝鮮に應用すべく餘りに民度と慣習を異にせり手數料問題の如きは此課税內容の決定と共に當然之に順應して値上を容認せらるべきは明かなりと雖も金額課税は到底仲買の現狀を以てしては忍ぶべからざる痛苦なるを免れず殊に其場合に於ては手數料は恐く市價によりて變化を伸せざるべからざるを以て慣習を冤ぜせる現在に於ては到底繁雜堪ゆる能はざるべし唯納税者保護の下に當分は手數料に基く口錢課税の方法に據るを得ば幾分容易なるものあるべしと更に他の有力者は課税問題に就て語る仲買に對する口錢課税は其の徵收上單純容易なるべきも取引所税の性質を誤り殊に所得税其他と同一となりて二重課税となるべし此の點に於て內地同樣金額課税は已むを得ざるものと謂ふの外なく唯其税率を輕減して仲買擁護の加減を爲すべきは最も至當なる措置たるべきを信ず云々と課税問題對策が、今後如何に進展すべきか、注目せられつゝあり（仁川）

私鐵の現勢と對策（四）

西鮮殖鐵常務 西島新藏

惟ふに朝鮮の現狀に於ては、未だ地方の產業發達せず、鐵道の營業は地方の產業が、鐵道を培養する域に達する迄、地方開發の犧牲たらざるべからず、今若し鐵道會社が自己の賃金を以て、地方產業に投資し得べしとすれば、自己の經營する交通網と相俟て地方產業の開發も急速度を以て促進され得べく當初其危險に對し政府が補給を與ふるに於ては、補給の年限は極めて短期にして、自立の域に達すべし殊に其組織は株式會社なれば內鮮人共に其恩典に浴し勸業費支出の方法として も、最も適當の處置なるべし、而して會社の經營すべき產業は自ら個人經營のものと、其種類素質を異にすべきを以て鮮人と卑近なる利害の衝突を避け、產業組織の間自ら鮮人と利害の關係を結び、其の無謀なる動搖をも阻止し得べし產業鐵道の如きも、其一方に於て製糖事業あり、又該社の創立は寧ろ製糖事業の副產物なりとも聞けば、此際產業鐵道は製糖會社と合併し前記の趣旨に依りて、更に製糖事業にも補給を受くる口實を造り、以て拓殖鐵道法制定の機運を醸成することならば產業鐵道前途の復活は更に意義あることゝなるべく、又其事業に對する前途の光明をも發見し得べし、要するに朝鮮私設鐵道根本の振興策としては前記の如き趣旨に依る拓殖鐵道法の制定を以て、最も機宜に適したる處置なりとせざるを得ず幸ひにして全鮮商議會も此提案をなしたるを以て、總督府に於ても直に研究に著手せられたりと信ず、如斯今や朝鮮私設鐵道事業は、其當面の問題に於ても、漸く解決の曙光を認め、又根本の恒久策としても拓殖鐵道法は、官民の等しく歡迎し研究しつゝある所なれば、株主並に業務擔當者は此際堅忍持久の覺悟を必要とし、又鮮內外一般官民は、朝鮮開發の前提として私鐵振興に對し滿腔の同情を以て保護指導あらん事を切望する次第なり（完）

全北木炭不足

全北道に於ける木炭は例年四十萬貫餘の製炭額なるも年々需用に不足を生じ北鮮又は黃海道新義より供給を仰ぎつゝあり斯かる狀態なるを以て他道に比し炭價高價にして需用家一般は生活上困難を感じつゝあるが本年は米價下落のため農家に金融の途なきを以て昨今白炭にて貫三十二錢位にて賣買され居れるが如し（全州）

苹果輸移出高

慶北果物同業組合に於ける昨大正九年中の苹果輸移出高は四萬二千八百四十二箱にして中鮮內は約其の半數を占め他は內地滿洲、南支那等なるが價格は時期及び地方に依りて差異あるも鮮內並に內地々方は約六圓平均を示せり又同年十二月中の搬出高は二百五十四箱にして主として國光、倭錦の二種なるが仕向地は鮮內百六十一箱、內地四十三箱滿洲五十箱なりと（大邱）

慶北事業紹介

活動寫眞に依りて慶尙北道にては管內の產業教育其の他事業を廣く鮮內及び內地に紹介する爲之が現況を活動寫眞に收めんと計畫中なりしが去る十日總督府より右撮影班來邱せしを以て愈十一日より大邱を振出しに市場狀況、高等普通學校、女學校、慶州遺跡、浦項鰊漁況等の撮影に著手すべし（大邱）

全北道路改修

全羅北道にては昨夏三回迄の大洪水の爲め道路橋梁護岸等の破損甚だしく之が全部復舊までには約百萬圓を要すべきが至急を要する個所の修繕工事は全州川の護岸工事京城木浦線鎭山咸鏡線改修線南原茂朱線裡里金堤線にして何れも七日道會計課に於て請負入札に附したり（全州）

地税未納處分

大田郡に於ける大正九年度第一期地税未徵收は一月十一日現在約五千六百餘圓の未徵收あるを以て此等に對し相當の處置を施すべき筈なりしも十日開會したる面長會議に於て各面長は來る二十日頃迄には殆ど完納の見込あればとの意見一致したるより郡廳にては各面長の意見を尊重し同日迄に納税せざる者に對しては相當の手續きをなす筈なり（大田）

學議員任命

大田郡炭洞面に於る昨年十二月十日執行の學校評議員候補者選擧は既報の如く有權者が選擧場に出場せざりし爲め其儘となりゐたるが大田郡廳にては十日再選擧を行ひたる結果閔永甚閔呂鎬の二氏候補者に當選したるを以て翌十一日郡守は閔永甚氏を任命したり（大田）

南集金日協議

鎭南浦に於ける集金日統一に關しては先般來數回委員會を開き種々協議を重ねたる末具體的實行案の起草を見るに至りたるを以て目下各商店主へ向け入會勸誘中なるが本月十五日頃協議會を開き協議すべしと（鎭南浦）

府尹榮轉說

仁川府尹吉松憲郎氏は昨秋來其榮轉を噂せられたるが今回理事官任命の發表と共に某方面に榮轉の事に內定せる如く傳へらる、が府政多端の折柄仁川府の爲め惜むべし（仁川）

北方集會

▲百濟商事一週年紀念宴 百濟商事株式會社にては十日は創立一週年紀念に相當するより同日午後七時より內鮮人の有志多數を松の家亭に招待し盛大なる祝宴を張り而して同社は資本金四萬圓にて金融貿易業を營み更に昨秋より運送部を新設したるが非常の好成績を擧げつゝありと（天安）

▲仲買人新年宴會 安東信託會社所屬仲買人組合にては去る八日午後五時より料亭みすみれに於て新年宴會を開きたり尚同組合は安東取引所の營業開始と同時に現在の組合を解散し組合長以下の選擧をなすことなれば別に組合の總會は開催せざりし（安東縣）

▲仁川の盛な會 仁川商業會議所の主催に係る仁川店員懇親會は來る十六日午後六時三十分より濱町歌舞伎座に於て催す筈なるが例に依り素人淨瑠璃浪花節其他の餘興を萬般準備を整へて店員一日の清興に資する筈なるべく各店主組合員に對して勸誘賛同を求め案內狀を發送したれば盛會を呈すべし（仁川）

一層邊の籠

耶馬溪より（一）

暖汀生

拜啓、余は今朝、耶馬溪の勝を探るべく、中津驛にて耶馬溪の光列車に轉乘した。やがて中津驛を發すると、車窓の左右は、茫々たる平野沃田で、これが奧平侯十萬石の沖代千町といふのださうだ。此の平野を橫ぎると、名高い山國川の堤に出て、更に之を溯ると、其の側に青松翠杉の鬱然たる杜が見ゐる。其處に鶴市神社といふ小さな祠が在つて、此の平野一千町步の灌漑の源なる三口堰石の人柱に立つて、水害を除きたる一個の恩人が祀つてある。其の緣起は次ぎのやうだ。『人皇七十五代崇德天皇の御宇に、宇佐八幡神領の內、沖代千餘町の田地を、七人の地頭にて支配せしが、山國川の水を沖代に引きしかども洪水の出る每に流れ潰れて塞ぎ得ず。茲に七人の地頭、頭を鳩めて相談りけるに、其の一人湯谷彈正基信の申しけるは、昔より人柱を立てざれば、必ず堰を築き止め得ずといへり。此の上は、一同神慮を伺ひ、各其の著けた桂袴を水に投じて、其の袴の先に沈みたる者を人柱にすべしと。斯く申合せて、各其の袴を流しけるに、發議者たる湯谷彈正の袴、先ず水底に沈みたれば、彈正は愈人柱に立つことゝなりぬ。然るに、其の家臣の古野源兵衛重定の女、お鶴といふものがあつて、齡三十五歲なるが、自ら進み出で、日へるやう、家臣ありながら君を人柱に立てまゐらすること、あるべからず。わらはこそ君の御恩を蒙り、成長候へば、御身代り致すべしと。其の子市太郎も、まだ十三のいたいけ盛りなるが、又申けるは、私こそ幼年なれども男子なれば、御身代り仕らめと。斯くて母子諸共に人柱に立ちたる爲め、堰は事無く築き了へたり。やがて母子の名を合せ、鶴市神社と號して水道守護の神とぞ崇めらる』是れ實に保延元年（七百八十六年前）八月十五日の事で、其の史實たると否とは、固より問ふを要しない。唯如何にも詩的で、而も人生の悲劇であると思ふ。賴山陽の詩に、

荒涼鶴市廟。敗廡倚寒林。代主名聲盛。利人功德深。水興沈水底。巨石壓波心。懷古感無極。蹯踞松柏陰。

又此の祠の在る鶴居村に『神の木』といふ地がある。母子が人柱となる時、其の頭髮を納めて瑱塞させし所、又小島崎といふのが、鶴市神社より南三町の河畔に在る。七人の地頭が袴を水中に投ぜる舊跡であるさうだ。一月五日正午、耶馬溪中の柿坂の茶店に憩いて、筆を走らすこと斯の如くである。匆々頓首。

演藝案內

黃金館 黃金町 電話一六三〇
當る一月十三日より上場
▲活劇 魔人 全三十三卷の內 第四回目 六卷
怪なるカフラカンは不思議なる力を以て諸人を苦めんとすケンプ隊長及び外交官の苦心は絕大となつた
▲現代新劇 英國文藝 幻影の女 全五卷
コナンドイル原作『ある女』を基として藝術映畫協會特作戀愛悲劇 青島好評映畫にならぬ高級映畫
▲大探偵映畫 世界の眼 全三十卷の內第三回目四卷
海賊ブランツの魔の手にかゝりスフインクスの中に入れられたるベツテイー嬢を遁き離れ島に送らんとなす上に於ける壯絕極まる大活劇精神の無き奇なる結果して何物か
▲舊劇特作映畫 大阪城 全七卷
[illegible]

喜樂館 有樂館改 本町一丁目 電話九九七番
當る一月十四日より特別大提供
▲寫眞 鐵道事業の實況 ▲喜劇 花嫁
昨冬以來當地愛活家を熱狂せしめつゝある問題の連續猛獸大活劇
虎の足跡 十三篇十四篇十五篇六卷上場
終に發明者小石川、大石、石田等に嫌疑かゝり問題のタイガフエース果して何人なるか
曲垣平九郎 全七卷 日活京都派尾上松之助十八番劇の一 第一部第二部大合同作品
當る一月十四日より封切
天下一品と定評ある當館の舊劇と最終連續映畫を見落し給ふな
大冒險猛獸大活劇 虎の足跡 十三篇 十四篇 十五篇
日活第一部第二部大合同作品 愛宕山男 馬術のほまれ 曲垣平九郎 全七卷 尾上松之助 傷害保險附冒險撮影 大冒險馬術劇
日活直營 京城本町壹丁目 喜樂館 電話九九七番

壽館 本町七丁目 電話一六八五
一番目笑劇 浮世小路 二場
二番目喜劇 甚さん 三場
三番目社會劇 惠の水 一場
四番目舊劇 心中競べ 三場

大正館 長尺 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
當る一月十四日より公開の大映畫
米國アートクラフト社傑作 沙漠の人影 全六卷
寫眞術研究者として有名なるモーリス・ターナー氏監督の許に名女優チルシー・ファイアー主演
新派悲劇 新野崎村 全七卷
舊劇 村上典膳 全六卷

浪花座 本町一丁目 電車終點 電話三三八番
當る一月十四日より
石川五右衛門の傳 五場
酒屋之段 一場
各席にはストーブの設備あり

のんで治るばいどくのくすり 六〇六號
敷津ドクトル苦心の結晶
全く是以上の療法なし

俗にクヌボレとカサ氣と云ふ如く梅毒は頗る多き病氣にして殊に近來は一層其の蔓延力が甚だしく從つて專門家は色々と其の治療法を研究しつゝあれども未だ完全な物が發見されぬ今日では彼の六〇六號注射が一番有効な物としつゝあれども是は莫大な費用を要し又一面には自分で秘密治療が出來ぬ是を遺憾として斯界の大家敷津先生は羽田醫學士等と永年苦心研究の結果頗る強度の內服藥セービンを發見せり、是は六〇六號の化學的創作に基き研究せるものにて從來の平凡な驅下し藥など、全然其の趣を異にし僅六錠づゝの服藥にて忽ち全身に廻りて殺菌、淨血、下毒、強壯の化學的作用を發現す、斯かる強力の藥なれども人體には少しも副作用や害を起さず、最も完全な梅毒藥なり。此のセービンの發見以來敷津先生は專ら同病患者に服藥せしめ實地に付試驗せるに實に百發百中、就中數回の六〇六注射にて治らぬ頑症も續々快癒せる等實に其の効能非凡なるに力を得て廣く同病者救濟の目的にて發賣方を小店へ依頼せられたるなり。

●店內に無料診療部あり
然も決して先生の意を受け發賣なすと共に店內に診療部及び研究部を設け專門大家を顧問として先生自ら診察治療をなし實地に付藥効を試驗すると同時に製劑師等を督勵して益々藥の改善に努められ、必ず必ずと自信を以て同病根治に熱中せる等全く他に其の比を見ざるベストを盡しつゝあり、因に當診療部にて朝九時より夜八時迄何人にも無料診察なせる故遠慮なく來院せらるべし

●更に患者諸氏に警告す
梅毒は第一期第二期第三期とあり發病は主に不潔の交接より傳染するものにして初めゲギレと稱し陰部に小さき瘡を生じそれより病菌が侵入し局部に腫物樣のもの出來是がタヾレて漸次病勢募り或はヨコネとなり或は腦を犯して腦梅毒となり、或は關節炎、リユウマチス、梅瘡、コンデローム、等樣々の病態を演じつゝ遂には肉や骨まで腐らし目を失ひ、鼻を失ひ、手足きかず、全身不自由となる等實に悲慘な狀態となる、加之斯梅毒は實に戰慄すべき病氣故病者は直に此の藥セービンを服用し一日も早く全治の喜びを得らるべし。

無代進呈 梅毒一般の容態、同病に本劑を應用せば如何なる作用を起すか、いかに服用せば治るか等詳しく書いた本を今回一万部限り病者に進呈すハガキで左記へ申込まれよ。

東京市本鄕區眞砂町九番地 仁壽堂 柴崎豐本店
大阪市曾根崎梅ケ枝町電停前 仁壽堂 柴崎豐支店

梅毒 淋病 實費診療部 ●神經衰弱陰萎 ●梅毒有無檢診 ●日曜午後休診 本鄕三丁目下車 電小四七七七 附屬診療部 ドクトル 敷津林傑

內服六〇六號セービン 特約代理店
京城府本町 本村眞三郎
群山府全州通 神林藥舖
龍山本町 巴商會
釜山辨天通り 大黑南海堂
平壤大和町 森田草樂堂
元山府本町 弘盛堂藥房
同 藤田悌三郎
外各地藥店にあり

開業御披露
謹啓各位益御清榮奉賀候陳者弊亭儀豫て黃金町一丁目十字街に三層樓の一大家屋を新築中の處今般落成を遂げ室內の裝飾は素より器具器物は全部新調し洋食は佛蘭西式の專門料理人を東京より招き殊に日本料理は京阪地方に於て屈指の板場を聘し和洋相俟つて各自獨特の技倆を揮ひ顧客に御滿足を與ふべく準備相整ひ材料の精選と料理の新鮮美味は弊亭の誇りとする處に有之來る十四日より開業致候間御引立の程奉願上候 敬具
尚開業披露の爲め御試食を相願ふべく十四日より三日間左の通り割引仕候
ビール 一本 三十錢
洋食 一皿 廿五錢
御酒 一本 廿五錢
日本料理は御好により調理仕候
京城府黃金町十字街銀行前 西洋料理 日本料理 銀松亭 電話一八一七番

品揃
牛革製上仕立トランク
ラクダ毛布鼠毛布各種
日ノ丸國旗及附屬品
京城本町一丁目三六 高木靴店 電話一五四番

丈なす黑髮 つやゝかな美髮となるには
純良煉香油 レートポマード
東京 大阪 平尾贊平商店

婦人と家庭

私の女性觀
天職を無視してはならぬ
第五高等學校長　吉岡剛甫氏談

（上）

只今總督府で開催中の教科書調査會列席の爲め入城中の第五高等學校長吉岡剛甫氏を巴城館に訪ふて現今の婦人問題について伺ひました

『私の婦人』はちと僭越かも知れませんが、第一男女の天職といふものは生理的、精神的に於て

先天的に區分

されてゐるものだらうと信じます。生理的、精神的兩面から觀ましても男は其の機關のすべてが丈夫である。殊に上體に方胸部あたりが遺憾なく發達して激しい生存競爭に適する様に出來てゐる。此の上體の發達してゐる事は一ち意志の力の勝れてゐる現れであるが女はそれに比較するとすべてが優しく乳房など特に又下體の腰部に於て著しく發達してゐる。これは專ら種族保存の要に適するやうに造られたもので

女子は男子に比して

意志の點が弱く、感情の細かい點に富んでゐる。かくの如く男は女は先天的に區分されて、男は外に於て競爭場裡に立つて活動し得るやうに、女は矢つ張り家庭を中心として子女の教養、家政を料理するといふ事が先づ自然に定まつたこととされてゐる。ち天の攝理であらうと信ずる。だから其の天職を無視して飽迄も男女は社會的にも政治的にも教育的にも同一の權利を要求しようといふあの雷鳥さんや青鞜社などの

運動に對して

は私としては悉く賛成は出來ない。といつて私はこれ迄の様な何の權利もなく、舊慣にのみよつて動くといふ女ではいかん。いまは少しく自尊心を持つて、いやしくも健全なる子女の教養、家政の料理をやる上については常に修養を積み獨創的でなくてはならぬ。だから各の立場により其の天職に叶ふ様な職業事業はやつて然るべしであると思ふ

縁起を喜ぶ酉の歳
神前結婚が多い
京城神社では今年から 結婚の儀式を改善する

大正九年は申の年の『さる』と云ふ言葉を忌み結婚の儀式を控へた向きが多かつたに引換へて本年は酉年の『とり』といふ言葉に因めると倫雛は極めて夫婦仲宜しきものなることに肖つて年の明けるを待ち構へて神前結婚式の申込みが殺到して頗る多忙を極めつゝある由同神社にては本年より結婚式には殊に十分の改善を加へることゝなつてゐる假へば座禮立禮何れにても望みに任すことや時間の正確及び時間の經濟を計ることや親族盃を別にせること等頗る見るべきものであるが分けて新春より良家の少女を酌人と爲せる事は最も依頼者の喜びとするところであらう、ち無邪氣で愛らしい少女が白衣緋の袴で三三九度の盃を執り持つ所は如何にも天使に媒せらるゝが如き感を起さしめ神氣身に迫るのである

東京婦人年始會　東都の婦人連の年始會が十日午後一時から麹町富士見軒で行はれた＝寫眞右より二人目が鳩山春子、六人目下田歌子＝

黒岩氏の家庭　右より一人目[illegible]（十六歳＝十二月二十六日死亡）同三人目三郎（五歳＝一月十一日死亡）同六人目あき（六歳＝十二月七日死亡）同七人目熊一（十九歳＝入院中）

光復團員逮捕
平壤を徘徊中

原籍不詳不逞鮮人朴仁寛（二七）なるもの昨年以來支那寛甸縣小楊溝に根據を有する獨立光復團に投じ派遣員として平壤府內の不逞鮮人と氣脈を通じ軍資金の募集に從事し居たるより其筋にては嚴密同人の偵察に努め居たるところ去る九日夜平壤に入り込み又もや軍資金の募集を爲さんと企畫せるを平壤署及び道第三部刑事の探知するところとなり十日市內徘徊中を逮捕し引續き取調べ中（平壤）

感謝狀
慰問袋に對する
平北道知事より

愛國婦人會朝鮮本部取纏めにかゝる國境江岸警察官憲兵へ寄贈の慰問袋を舊臘其の第一回分を送了したるが現に寄贈を受けたる警官憲兵よりは何れも非常の感謝と歡喜に滿ちたる禮狀を本部宛て送付し來れるが飯尾平安北道知事より特に水野本部長に寄せたるもの左の如し

歳華愛に更新を加へ候處時下寒氣料峭の折柄益御安泰に被爲渉候段慶賀の至りに奉存候然者當道國境方面に勤務せる部下警察官並家族等に對し多大の御同情を給り之れが慰安として各有志諸氏の熱烈なる援情を集めたる慰問袋御寄贈被成下客臘三十日現品無事到着正に拜受仕候

特に慰問袋調製に就ては歳尾多忙に際し家庭一切の要務も擲て本部長殿御始め在京顯官の各令夫人方々數日間本部へ御詰合せ手自ら針線を探り物品の購入計劃等御勞役に御從事被成下候段御芳情一入感激に不堪次第に御座候特に又遠路態々御部の大橋主幹を特派せられ親しく御慰問の辭を辱ふし具さに御同情のある所を傳へ尚第三部職員に對しては本職親しく臨席の上之を授與し總々御意志を傳達したる所何れも喜色滿面に溢れ慰問の效果を與へたるは本職の欣快に堪へざる所に有之厚く謝意を奉表上候先は不取敢御禮申上度如此御座候敬具

二箇月足らずに
三兒を亡くした
悲慘な黒岩氏の家庭
剩さへ鄕里のお父様まで……

老少不常とはいへ、凡そ人の愛し子に立たるゝ事ほど悲痛な極みはありますまい高等法院黒岩書記長のお宅では舊臘の七日同じく二十六日と一人ならず二人迄も亡くせられ、涙もまだ乾かないのに去る十一日拂曉明けて五つになつたばかりの頑是ない坊ちやんは皆さんの厚い介抱の甲斐もなう、御兩親の悲しみを殘して遂に二人の姉様の跡を追はれました。あまりの事に現す言葉さへもわからない。奥様は打續く悲しさと介抱でいたく／＼しう面やつれした身を香燈ゆるやかにこむる佛間に籠りしめりがちな口調で語る『斯うなりますと、ただもう不思議な様な氣がしますよ不幸も續きますもので、昨年八月末は私が病みまして長らくの入院致し、漸く命丈拾つて歸り少しづつ元氣にも向ふかといふ時國元の父が亡くなり、引續き二人の女兒に別れその上又三人の男の子の中二人迄も前後して病みつき、病院に入れましたので、今度だけは心身も世も忘れて看護しましたがこの始末で……』後は涙に打くづれられました一方總督府醫院に入院中の坊ちやんは、此幼ない弟さんの御不幸は勿論知られない、昨今四十度以上の高熱で仲々油斷ならぬ御容態の由。なんといふ御氣の毒な事でせう。泣きくづる奥様の面をのぞき見る事も出來なかつた。

新年の商況
以前ほどではないが活氣づいて來る
豫言者　岡村介石

科學が進歩して人間が大空を制するやうに成つても社會の好景氣と不景氣を緩和調節する連絡飛行には未だ却々手が屆かぬ。口にこそ調節を云々すれど其實は舊の如く自然調節に任すの外は無い。有て見ても其の實効が擧がらないのが永世不易の眞理で科學の進歩に依つて調節が出來ると想ふのは餘りに科學を過信した先生方の人間位を脱線した無理望みでは在るまい乎…などと生意氣に他人の畑に鍬など打込んで叱られるな……夫れもそうだ物騒な世だからね。夫れじやが易の[illegible]一道六十四線を脱せぬ範圍に於て新年の商況を判じてここに仕やう……

澤風大過　☱☴　二爻

抑も新年の商況を策して此易を得たのは社會の景氣不景氣を外國の地震視して居る吾々幽人を始めとして苟くも物の損益の間に生存する世人一般の一大福音だよ。夫れは本卦の大象に『澤滅木大過。君子以獨立而不懼。遯世无悶』と孔子様が讚言して居らるゝからで在る。其理由は澤滅する木を大過なりとは本卦を上下に分かつて物の象に當て見ると上卦の兌☱は澤ち水で下卦の巽☴は木で有る。水は木を潤養するもので木の缺ぐべからざる物で在るが過ぎたるは及ばざるが如しで其れも潤養の程度を過ぎ或ひは非常不自然の水と成ると却て木を損傷枯死さすことが在る。それは曾く世人の知ることで、林業家、盆栽家の特に深く經驗する處である。昨年我輩が五月に降雹害が在ると豫言した處が、恰度五月二十七日に未曾有の大雹が降つて、氣の毒にも京城盆栽界の逸品と稱せられた某友人の名木が枯れた。或日我輩にあんな豫言を爲るから雹が降つたのだと大に不平を云つたけれども、如何に我輩が易斷の名人と假定した處で、未だ雹や雨を降らす程の通力はない。自然が降る獸立に成つて居るから策に成じて卦象に現れた。夫れを正確に判じたから其時に到つて降つたので……

金融組合理事
不逞漢に殺さる
拳銃で撃たれて即死
平南成川郡の椿事

平安南道成川郡丁波金融組合理事永重英吉氏（二八）は十二日同郡通川面地方に貸金の取立に赴き午後四時三十分同面事務所に立寄りたるところ二名の不逞鮮人同面事務所に闖入し永重理事を拳銃にて狙撃し即死せしめた此急報成川警察署に達するや直に警部以下八名の警察官自動車にて現場に急行し午後六時平南第三部よりも多數警察官自動車で現場に向つた同地は平元街道に沿ひ平壤を去ること二十里、其餘の被害狀況については今尚不明である因に永重理事は後備陸軍三等主計である（平壤）

公設市場の成績
十二月中の賣上

京城府營の社會事業の一端として一昨年來府營の公設市場を市內四ヶ所に設置し物價の調節と一般府民の利便を計つた事は云ふ迄もないが此の公設市場が果して何の位な能力を發揮したかと云ふに舊臘十二月中に於ける各公設市場の賣上を見ると明治町五萬六千二百五十九圓八十七錢、花園町五萬三千百六十三圓六十一錢五厘、龍山一萬五千三百三十五圓八十二錢、京町一萬三千三百四十一圓七十九錢五厘で合計十三萬九千三百一圓五錢となるが公設市場開始以來の各市場賣上の總高を見ると實に七十六萬七千十六圓七十四錢五厘となつてゐる

今日の物價
（公設市場調べ）

大ゲン牛肉（百匁）一、〇六拾錢
二番鰯（百匁）三十五錢
ト々口昆布（百匁）四拾錢
上白砂糖（一斤）二拾五錢
白砂糖（一斤）三拾三錢
赤味噌（百匁）六拾二錢

釜山連絡船

發　朝七、五〇　夕八、三〇

十四日	朝、對馬丸	夕、新羅丸
十五日	朝、壹岐丸	夕、高麗丸
十六日	朝、對馬丸	夕、新羅丸
十七日	朝、壹岐丸	夕、高麗丸

新年
龍山公立尋常小學校五學年　宮井光武

コケコッコー、勢ひのよい一聲に目がさめた。頭を上げたらチン／＼と時計は六時を打つた。今日は大正十年の元旦だ。一番に鷄小屋へ行つて『今年はお前の年でおめでたう』斯ういつたら、『コッコッ』と鳴いた何だかわけがわからないが、うれしさうに見えた。空が赤くなつて、やがて初日が出さうだ門を開けると、どこの家でも門松やしめかざりがしてある。まだ外は靜かで人通りがない。元旦、こう思つても氣持がよい。僕は酉の年生れだからちやうど十三になつたのだと思ふと、急にせがのびたやうだ。鷄のやうに朝早く起き、又空飛ぶ鳥のやうに元氣でこの大正十年、酉年の一年を送らうと思ふ。

鷄林八道　山河日新
京城東大門公立尋常小學校第五學年　安川圭一郎

飼犬の新鑑札

巖に奮闘する愛犬は或る一つの恐怖を以てゐる夫れは所謂犬殺しなるもので彼等の職業の前には愛犬の生命も風前の燈である……のを京城府廳に納めて愛犬の生命を保護してゐるが此の鑑札を受けた愛犬が京城市中に何匹居るであらうかと調べて見ると其……

犬鑑札は

鎖輪に連結してゐる部分から切斷し易い爲め亡失又は盜取等の事故が生じて一般に再下付を申請する者が……互に研究されて居たし先般來愈その理想的な犬鑑札を製作することゝなり今回完成の運びとなつて茲に新鑑札交付を行ひ從來の物に較べると切斷の憂ひは絕對にないし又容易に盜取される虞もないので愛犬家には評判がいいやうだ一般愛犬家は十三日より引換交付を開始した

列車から飛び降りて

十日午前六時五十分頃、釜山發奉天行列車が新義州驛を發しプラットホームを通過したる頃車輛の中より路上に飛び降りたるが近部民が之を發見し直に最寄警察官に此旨屆出で應急の手當を施したるところ漸く蘇生したるよりその顛末を聞くに全く無……（平壤）

天氣豫報
曇小雪後晴

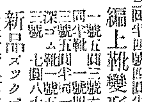
……つて氣壓次第に減少しつゝある……も其傾斜頗る緩漫なり天氣概ね……發天にして方向區々なるも南東岸及東岸は風稍強し氣壓配置前記の如く不定なるを以て明日は概ね曇天にして或は小雪ある……

日出　七時四十八分　日入　五時三十八分
滿潮（仁川）　午前八時　午後八時二十分

丈夫で輕い……銀の下駄
新案特許
當分の內實物廣告の爲特別割引
男物　貳圓七拾錢　女物　二圓五十錢
東京淺草瓦町廿八　福田商會　電話下谷七六二　振替四五一

德嶋縣人懇話會開催
一月二十二日午後三時ヨリ京城倶樂部ニ於テ第二回懇親會ヲ開催シ各位ノ來會ヲ乞フ
德嶋縣人懇話會事務所

新品キット見切靴
編上靴變形靴



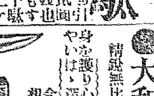
優良總ゴム靴特價
倉持商店

金もうけ
無代進呈

サック
小便袋
丁子堂

請負公告
一、道路修繕用第二回砂利……
京城府

大和魂の精華
精鋭無比　白鞘短刀

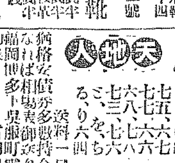


特別定價上作金貳圓卅錢
東京芝區巴町七九　平野久光

京城古市町電話二七四六
畑硝子工場

新春の運ためし
六千圓　九千圓
家庭的お樂しみ
福岡支店

アート式無砂精米麥機



結核專門　古賀病院

調劑確實有效保證
大學病院模範方劑
KAZEPIRIN　カゼピリン
樂天堂製藥株式會社

女の祝福
眞面目に親切に
婦人病を治す
「命の母」療法

アヽ、妾は何故この様に病弱に生れ付いたのだらうとお嘆きになる御婦人の十中八九までは大抵子宮病に罹つて居られるのでありますが、十五六の少女時代から少しづゝ病勢を進めて來た方や、又御成人の後に罹病られた方でも初期の內は御自分でもハッキリお分りになりませんが、捨て置くとだん／＼と顔色が蒼白くなり、月經不順で下腹から腰、內股の邊が引吊るやうに痛み、四肢、腰、背等が冷え、頭痛、眩暈、逆上、不眠、息切、食慾不進、便秘等身體各部に種々の故障を起します、殊に白帶下があつて子供の出來ない方が普通であります、然るに世の中には此の白帶下について大變な間違つた考へをもつて居る婦人が少くないのを驚くの外ありません、若し卵の白味の様なのや又は黄色青色の惡臭のあるおりもの時には血が混る等のことがあれば誰でも病氣ではないか位の事はお氣付になるでせうが夫でなくても少しでも水の様に薄いおりものが流れ出る様であれば既に子宮病に罹つて居られる證據ですから躊躇なく直ぐ手當をなさらぬといけません、それには五大醫學博士の證明ある婦人藥中の高級藥として知られた「命の母」の御服藥をお奬め致しますが、服藥に先立ち容體を御研究なさりたい方は左の治療書を無代で差上げますから何處までも親切に眞面目に御相談申上げます。

冷え込みに
溫泉は一時的
「命の母」は生涯

「命の母」子宮病全快者の子寶實例
十勝國中川郡本別驛　吉澤稔子
神戸市元町三丁目　弓場文平氏
鹿兒島縣姶良郡山村　有村さめ子

婦人科專門醫學士北島佐藤兩先生著
◎婦人病者の心得　申込次第進呈
此新聞に五厘切手貼付にて御送り下さつても宜しい

命の母藥價
五十錢　一圓　二圓　三圓　五圓　十圓

本舖
東京市京橋區新榮町　電話京橋三一〇一番
大阪市北區本庄中野町　電話東二二三三番
笹岡省三藥房

府廳で交附

…一喫の下に失はれて數は僅に千六百八十二匹でこれ極めて多く…要犬飼養家に…なつたか…或時は主人の家を守り或時は狩…了うのである、之を避ける爲に…から生ずる税金は五千四十六圓…の間に非常な手數と費用とを要…その主人は年三圓の犬税なるもとなつてゐる、以が從來の…するので之に鑑札の交附は常々…

改正され

た新鑑札は換られるがいいと云ふ意味で京…府廳に附…するやうに出來てる…道府廳二課では手數料を要せず…

人事不省

列車は既に急速度を以て進行中…乘車したる爲め停車中下車を…なりしより路面に跳飛ばされ其け驛を離れてから飛降たるもの…平安南道順川郡内南面金谷里三百八十番地金龍成（二二）は去る八日…氣絶人事不省となりたるが附…なりと、因に生命には別條なし

自十三日午後六時至十四日午後六時　高氣壓は支那中部南滿洲黄海及び半島に擴張し夫より日本海に向ひ…　晴天となるべき見込なり
十二日正午零下一、三六、七　昨日正午零下三、八　一五、二

雪の日の遊び

王世子妃殿下御懐姙說は
多分事實とならう
小山典醫談

王世子妃殿下の御懐姙說に就き小山典醫は曰く『最近妃殿下には御身重に在らせらるゝやに拜診せるゝ節なきに非ず然れど確實の御事として發表する機會に到達し居らざるも多分誤りなきこと〻信ず』（東京特電）

兩殿下御同伴御歸鮮期は
目下の處確定せぬ
高事務官談

尚右御懐姙說並に兩殿下御歸鮮に就き高事務官の談に依れば『兩殿下には今春四五月頃李王同妃兩殿下御訪問の爲御歸鮮の内儀ありしも王世子殿下には目下陸軍大學の御修學中にて毎日朝八時三十分より午後三時迄は日課の御修學あり專ら學業御勉強中にある上妃殿下には御懐姙の御事あらんには少しく御延期の外なか旁なるべく歸鮮の御時期は目下未定と申すより外なし云々』（東京電話）

米機關長射殺事件
外交問題にはなるまい

今回浦鹽に於ける我が司令部付の處置にして事件の眞相を探究するに八日午前四時二十分と云ふ深夜一見露人の裝ひをなせる歩哨が米艦機關長を射殺したる事件に關し同艦長より我大井司令官に對し抗議を申込み來れるものが我歩哨監視線内に侵入し併も我建築物の狀態を注視する趣きなるが取敢ず我官憲にてば若同機關長の死に對し遺憾の意を表すべき事となるべしと云ふ而して我國側より云へば當然注意しつゝありしが我歩哨の再三の誰何に對し露語を以て『知らぬ〳〵』と言ひたる後突然携帶せる短銃を以て歩哨を狙擊し立ち去らんとする所きなきだに物情紛然たる折柄とて歩哨が之を不逞露人の類と認め應射せるは其職務上當然なるのみならず寧ろ必然とせざるべからざる無謀なりしなり我が軍より右詳細の事情を陳情する時は米國側に於ても諒解せざるべからざる譯なるが米國側が如何なる態度に出づべきか今後の成行きは注目に値すべしと本事件は多分日米間の外交問題とならず浦鹽に於ける日米双方間の交涉によりて解決を見るに至るべしと云ふ（東京電話）

賀陽宮の御乘車に發砲す
濱松附近にて

十二日午前二時四十五分濱松驛通過の特別列車に突然發砲したるものあり最後部の展望車窓硝子を破壞したるが隣接車には賀陽宮恒憲王殿下御搭乘あらせられたるより濱松署は憲兵分隊と協力大活動を開始せり（濱松發電）

村野翁逝去

神戸市山崎村野山人氏（七十四）が舊臘十九日マラリヤ熱に罹り川西鈴木兩博士の診療を受け居たる處八日以來病勢危篤となりたる事は既電の通りなるが終に手當の功なく十二日午前六時逝るが如く逝去せり氏は鹿兒島縣人にして乃木將軍の崇拜者なる事は普く人の知る所なり（神戸發電）

長途耐寒行軍
歩兵第七十九聯隊の壯擧
最終の日には野砲兵と連合し牛臥皮里にて攻擊戰闘

嚴寒中服のシーズンに入つたので龍山各部隊では夫れ〳〵耐寒行軍實施の準備中であるが歩兵第七十九聯隊では各隊に率先して來る二十六日から志賀聯隊長統裁の下に六日間寒天を衝いて約二百基の耐寒行軍を實施することゝなつた今其の計畫を聞くに第一日の二十六日には午前七時屯營を出發し、西氷庫、馬踏、巨里、新院里、細川里、倉洞を經て廣州に旅次行軍を試み

行軍の情況 に依つては廣州西方地區に於て假裝敵に對する大隊の攻擊戰を實施し二十七日は午前七時半舍營地廣州を出發し裕野所、屯發谷東山里、新村里を經て利川に旅次行軍、此の間實に三十三基ある、午後四時半利川着の豫定で舍營、二十八日は同じく朝七時半利川出發、西山里、基谷、彌日里、金長場里、驛洞を經て驛洞附近に

露營の夢 を結ぶ筈、途中午後零時半より彌日里出發の際二個大隊に分れ警戒行軍を行ひ水原守備隊の假設敵と遭遇戰を行ひ追擊に移り午後四時驛洞に於て新情況に基き前哨大隊として行軍前哨を張り實戰宛らの警戒をなし夜半警戒を撤して露營廿九日午前八時露營地出發、新院里、水原古川里、安登里開井四基を旅次行軍にて歸途に就き卅日午前七時半安登里舍營地を出發、始興を經て午後四時歸營の筈である此日

有終の美 を發揮すべく正午野砲兵と連合し牛臥皮里附近で攻擊戰闘を實施する計畫である

寢込中の重大犯人
逮捕さる

十日拂曉東大門外某鮮人宅に於て刑事數名が寢込中の重大犯人を難なく逮捕したるが右犯人は[illegible]未安東縣を經て鐵路京城に潜入した上海假稱政府の内務總長李東寧の使命を帶び大々的不逞運動を開始すべく畫策中であつたらしい不逞漢は三十歳位りの風采堂々たるもので李秉圭と云ふと自稱して居るが之を逮捕した刑事等は孰れも第三部の敏腕家のみである。

聖恩に感激して
記念の殿堂を建設し
毎年秋季大祭を執行
國境鮮人の決議

國境に我軍の出動以來不逞者の暴行頓に止み威光先を爭うて歸順しつゝあるが之等歸順者には懇篤なる訓諭を授け各歸順證を與へ歸還を許されて居るので彼等はその寬大なる處置に感激し一般鮮人の喜悅亦一方ならず三道溝在住鮮民等は此程牛一頭を購求し三道溝守備隊長福元中尉に提供したり隊長は一般鮮民が我が日本軍の恩澤に浴し漸次歸順しつゝあるは欣快の至りなるも人民より金品を受くるは日本軍隊として面白からずとて懇諭せるが鮮民等は更に協議の結果大日本帝國天皇陛下の恩澤を永久子孫に傳へん爲め御殿を建設し聖號を祭り毎年秋季に於て皇萬福の大祭を行ふことに決議せりと（渾春電報）

全鮮歌留多大會
大會の日近し
選手の意氣は熱した
榮ある優勝旗は誰が手に落つる？

愈數日を餘すのみに切迫した本社主催歌留多大會は十六日（日曜）午前九時より南米倉町京城俱樂部樓上で開催される筈であるが吉例でもあり新春劈頭の大爭覇戰だけに全鮮歌留多界は色めき渡り各地各團體共に素晴らしい猛練習を續け、來るべき爭覇の

晴の試合を 手具脛曳て待つてある既に京城各團體は何れも昨春の雪辱戰を決行するの意氣天を衝くものもあり、仁川の聯合また盟主上田氏を中心に當日は大學聯征京城其他の猛者連と雌雄を決すべく、大田、大邱、釜山、平壤、安東の各地選手も參會の筈なれば當日の盛況想ふべし。大會の出場選手は男女隨意『團體に屬せざる者も無所屬として出場歡迎』當日

午前九時迄 に會場に到著受附係へ申込まれればよい時間を嚴守する筈なので九時以後の申込は不可能となるから出場選手は時間を勵行されたい。悉べて對手は抽籤で定め婦人選手は特になるべく婦人を對手とする方針なれば婦人選手も揃つて出場されたい。本社は特に斯道獎勵の意味を以て

一勝者金部 に漏れなく賞品を贈り更に優勝戰の結果一等に美麗なる優勝旗を贈り、本賞として本社の金牌を副賞として各方面よりの寄贈品多數を授與し以下二三等に銀牌、四五等に銅牌副賞品多數を授與する筈である。競技方法は昨年に同じである。榮ある新らしき本社の優勝旗が誰の掌に握らるゝか興味ある本年歌留多シーズン第一の大決戰の謎は十六日の晴の日までは全く豫斷が出來ない。

山中で内地人の獵師を撲り殺す
犯人は三名の鮮人强盜

去月二十六日午後九時頃平安南道平原郡順安面星二里唯峴山の山路中間に一内地人が變死せるを發見したる附近部民は此旨直に所轄平原郡警察署順安駐在所に急報したるより同所長佐野巡查部長李林兩巡查及び面事務所より金面書記の四名直に現場に急行し檢視したるところ全く

他殺なる こと判明し直に被害者並に犯人に就て調査したるところ右被害者は原籍福岡縣筑紫郡大野村白木原當時平安南道平原郡石岩面石岩里百四十一番地菓子小賣商吉嗣末吉なること判明したるが同人は菓子小賣商の傍ら狩獵を爲し副業とせるものなるが被害前の狀況を調査したる結果同人はその前日

附近山林 に於て二頭の獐を捕獲し一頭を順安市場に於て金四圓にて賣却し一頭は肉となして之を自家に持歸るべく被害の當日順安を出發し前記山路にさしかゝりたる際何者かに殺害せられたること分明したるより佐野巡查部長は部下巡查を指揮し

犯人檢擧 に努めたる結果恰もその當時順安面星二里一四〇四番地無職尹鳳贊（二三）同尹鳳杰（二八）同洪[illegible]普（二九）の三名が其の狀を知り被害者の立ち去りたる跡を付け來りたる事實を發見したるを以て佐野部長は全く前記三名の所爲ならんと目星を付け尹鳳贊の居宅を襲ひ家宅搜査を爲したるに

血痕附着 の棍棒並に著衣等あるより愈同人等の所爲なること明かとなりたるより果尹は逮捕して嚴重取調べたる結果の所爲なること自白するに至り直に他の二名も檢擧したが當時の犯狀を聞くに恰も被害者が午前十一時頃同山路を通行中前記三名が後より呼び止め

獐肉を買 ふ如く裝ひ被害者に接近し棍棒を以て頭部を亂打し遂に殺害したる後懷中せる現金四圓を强奪し現場より逃走したるものなりと因に被害者は妻と二人暮らしなり（平壤）

首に懸賞
南鮮地方に不穩の噂

目下南鮮地方に於て頗る流布されつゝある噂によれば上海假稱政府は在鮮官公吏の首級買收捷を付けであるが首級を打ち取つた者には左の懸賞金を與へると云ふ

道知事首級千五百圓▲道一二三部長及郡守七百圓▲憲兵警察官五百圓▲高等係偵及面長三百圓▲親日派二百圓

緩衝機（投書歡迎）
集配人諸兄に
京城　大翻生

よく世間で郵便配達の事に就て兎角言はれるのを聞きますので私も何時しか其の心持になつて當局者は無能であるといふ事を胸に留めてゐたのでありました。所が先月の末の事でありましたが東上の途中の知人から一枚の葉書に接しました、見れば五枚の符箋が付いて居て幾人かの配達夫の手に交はされた事が歷然と知られました。當方の町名を誤つて書いてあつたので私の本人が居ない町を當てもなく持ち廻られた其の間の苦心も察せられました。而も誤つて他町を書いた上に番地が書いてないのです。況して全く京城の何がしと書いてあるのと同じ様に然も世上に知られてある名士等ならば兎に角只一個の罷として裏屋住居の自を探し當てる迄の苦心ば……しみ〴〵に私が此の符箋をめくつて見る間に感じたのであります。鉛筆の走り書きで只一言の挨拶が認めてあるのみで受け取つても、受け取らなくても好い位なものを斯く迄して配付して貰へるものかと此時始めて從來抱いてゐた當局者の無能呼ばはりの罪から醒めたのであります。今私は此の五枚の符箋を繰返しめくり乍ら從來の誤解を打ち捨て新に當局者の無能でない事を確信しました。萬一非難する報があるとしたなら其の起る理由を突きとめて、假初めにも針小棒大に流れる様な態度であるのではない。私は我田引水の言ひ分ではない。公平な立場として事實に感じた心を遺憾なく述べたならばドシ〳〵と突つ込んで貰ひ度い所存であります。特に申上げます。終りに當局者方の御發奮を祈る次第です。

今日から愈々春場所の初日
本紙の號外發行
懸賞勝負豫想應募殺到

東京大相撲春場所は愈今十四日から蓋が開くのであるが本社では本場所の好取組を選びその勝負豫想を懸賞にて普く讀者に募つたところ、發表以來十三日朝までに各地よりの應募集既に一萬數千通に上り、例年よりは更に一段と讀者の歡迎を受けて居るやうであるが十四日の締切日までには優に二萬以上の應募を見るであらうと思はれる。尚ほ本社は本紙讀者の爲めに毎日の取組、勝負及び手捌等を逸早く報道すべく號外を發行する筈である

初日取組

東京春場所初日の取組は左の如し（東京電報）

阿久津川　錦（土州山　八甲山）（琴ケ浦　能代潟）
小松山　大の島（大鳴門　逵の矢）（太刀ケ[illegible]　大門岩）
紅葉川　宮城山（矢筈山　九州山）
清瀨川（小牛田山　友の浦）
駒泉
大戸平　瑯耶風（蔵ケ嶽　両國）
阿蘇嶽　大の里（白杉磯　鶴ケ濱）
若葉山　源氏山（射水川　常の花）（千葉崎　東）
藤の川　栃木山（黑瀨川　大錦）

借行社へ

十四日午後二時から龍山借行社に於て將校夫人の名刺交換會が行はれた（寫眞は借行社門前）

『迷惑千萬である』
布木、綿布兩組合の紛擾問題に就て
朴承稙氏は語る

昨今京仁綿布商組合と京仁布木商組合間に於て延取引上に關し紛紜を醸し延いては布木商組合員たる鮮人側の思想惡化の傾向あるが如く誤說を傳ふる向きあるに對し京仁布木商組合長朴承稙氏は慨然として語る『綿布、布木兩商組合間に於て紛擾を惹起し延いては布木商組合員たる鮮人側の思想が惡化の傾向を示せるが如く流說する者あれども這は全然眞相を誤解せるもの、說で甚だ遺憾に堪へざる處である、延取引期間の延期問題の起つたことは事實であるが其原因は昨春頃六十日間なりしを其後漸次財界の激變に伴ひ

取引期間 を短縮し昨冬十一月迄は三十日間であつたが十二月に入つて尙二十日に短縮したので一方支那人側綿布及び絹布商が四十日間の延取引をなし居たるに舊正月を目前に控へ、舊十二月卅日を以て決濟することに決議したる爲め鮮人布木商組合は内地人の綿布商から

二十日に 短縮された其の上に搗て加へて支那人側の攻擊を受けることゝなり遂に支那人側に交涉して依然四十日間の延取引に決定せしを以て内地人側に對しても依然三十日間に承認されたいと交涉を開始した譯である故に布木商の立場も同情すべきことである從つて近く

之が解決 を爲すべく兩組合間に於て協議纏まり居たるを突然某新聞が布木組合員が排日思想又は不逞心を起せるが如き傾向ある樣に記載したものだから忽ち平地に波瀾を惹起せしめる事態を呈するに至つたのは返す〴〵も遺憾である、私が布木商組合長にして又綿布商組合員たる

立場から 十二日夜の如きは其筋の調査を受けたるのみでなく布木商組合員の激怒する處となつて散々な攻擊を受けて誠に酷い目に遭ひました斷じて不穩の模樣はありません云々

尙同問題に就て十三日午後京城商議所に於て内地人側、共益社、高瀨商會、昆原末太郎氏の三名及び鮮人側金鎭哲、彭錫獻、金潤秀の三氏會見の上協議決定することゝなつたが多分二十五日間の延取引を協議し圓滿決定を見るであらう

金の船　少年少女諸君が待ちに待つた二月號出來

龍山の左儀長

十六日午前十時半より龍山鐵道公園に於て行はるべき左儀長の順序は左の如し
一、午前十時半神職祝詞　二、松村社宅主任點火（同時に大鼓囃子）三、吉書燒　四、正午終了
右は古式を復活し盛大に催すべしと

演藝
▲大正館　十四日より新寫眞と差替へ▲喜劇『攝津武庫川及實錄』▲喜劇『料理屋の女』▲藝術映畫『沙陵の人形』全六巻▲伊原青々園氏作新派悲劇『新野崎村』全七巻▲舊劇『村上典膳』全六巻
▲喜樂館　十四日より新寫眞と差替▲寫實『暴露事製造の實況』▲滑稽『浮氣の花嫁』▲活劇『曲垣平九郎』全七巻
▲浪花座　十四日より替り狂言▲新狂言『石川五右衛門傳』五場▲切狂言『三勝半七酒屋の段』

惱病と人の運
諸君は如斯して不幸なる運命を開拓せよ

頭痛のする人

人は自分の運の好い惡いを、神樣か何かの力であるやうに思つてゐるが、之れは大きな誤りであつて人自身が自分の運の神樣なのである。だから福の神も貧乏神も其人の中に住んで居るのであつて決して他にあるものではない即ち、もし茲に頭の惡い人があつて雨模樣や曇空の時はイヤに頭が重く、日常も何となく頭がヅキ〳〵するなぞと云ふ腦病頭の爲めに、ロクに仕事が出來ないとする、之れに反して頭の好い人即ち健康の頭腦を有する人は仕事もごん〳〵捗どるのに、俺は何故運が惡く行くんだア、と嘆聲を發する事になるが、是れは決して運が惡くなるのでは無い。自分で運を惡くするのである。此場合その惡い頭を治す事は即ち自分で自分の運を好くする方法なのだ、即ち腦學士の二冊の治療書はその方法に外ならない

記憶の惡い人

常時學士常持博治氏は此二冊の腦治療書を廣く社會に頒布して居るが、それは何故であるかと云ふに、つまり今云ふ世の『運の神』を救ふ爲めに外ならないのである。同氏は世の爲めに其半生を傾けて苦心慘憺たる結果有名な健腦新劑レーベンを發明したのである。一般今の世は腦神經衰弱時代と云つても好い位である。男なら腦神經衰弱女ならヒステリーの人が非常に多い。之は世の文明が進んで生存競爭が烈しくなるに從ひ殖わる病氣であつて、頭痛のする人なども皆其一病人である。『僕は近頃何うも物忘れをして困る』なぞと云ふ人も此病氣に取りつかれて居るのだ。ツマラない事をひよい〳〵と忘れてゐる中はまだ罪が輕いが知らぬ中に病氣が進んでやがては親しい友達の名を忘れたりする位になる此點は學生など最も注意すべき事であつて學業優秀の靑年たるには何よりも健腦が大事である。

夜眠れぬ人

腦神經衰弱の症候の中で最も苦しいのは夜眠れない事である。さて床についたとなつても、あさましい〳〵な妄想があとから、あとから湧いて來て却々眠れない。眠らうと努力すればする程益々眠りかねてつまらない取越苦勞をしてみたり莫迦げた空想に追はれたりして、やがて一時の時計を聞き、二時の鐘を聞き、終には頭が何かで壓されるやうに重くるしくなつて來る。遂う〳〵夜が明ける……又た夫に眠れば不愉快な夢に襲はれて、冷汗が全身にピッショリと流れてゐると云ふ有樣勿論翌日の氣分の惡い事は夥しい。それでも本人さつぱり病氣とは氣がつかずに『近頃は眼が冴めて困る』位の平氣でゐるのだ。實に危險な事である。『本人自身で解らない』のが此病氣の特徵であつて、本人の知らぬ間に病勢はずん〳〵と進んで其結果半身不隨になつたり卒中で斃れたりする事になるのであるから本病者は何を置いても常時學士のレーベンを常用して二冊の治療書を讀む必要がある。それはハガキで申込みさへすれば無代で贈るのである。

飽きつぽい人

夜眠れないために翌日頭が不愉快なのは云ふ迄もない事だが、それがために仕事が捗どらないと云ふ事は其人のために何れ位不幸であるか解らない。『仕事に熱心になれない』と云ふのは此病氣の一症徵であつて、仕事をしてゐるともすぐ飽きが來て、直ぐ日中眠氣を覺ゆむやみと欠伸が出て、何かの拍子に立上るさ、ぐら〳〵と眩暈を感ずるなど、云ふ人は皆本病にかゝつてゐるのである。斯かる人が社會に出て何れだけの活動か出來よう云ふ迄もなく劣敗者たる運命に立到るのである。即ち斯る人は一刻も早く常時學士の治療法に從ふか、又は、其健腦劑レーベンの偉力に頼るかして速かに治する必要があるのである。レーベンは既に社會的に其價値を知られてゐるので、茲に事新しく說く必要はないが、同用常時學士始め博士學士其他陸軍醫諸大家が證明して、第一に植物性藥劑であつて米麥を常食とする東洋人に適合し第二に腦の要素たるリンサンを多量に含んで居り、第三にその製劑が新式である完全であると云つてゐるに依つても其社會的信用の程度は知れよう

優柔不斷の人

一體此病氣の人は俗に云ふ『ぐずの骨頂』であつて些細な手紙を書くのも面倒、人を訪問するのも面倒で常に煮え切らぬ生活をしてゐるものであるが其中に、自信力の缺乏、膽力の缺乏、厭世の情なぞがわけもなくつのつて來て終ひには取返しのつかぬ運命に入るのであるから速かに治療の法を講ずるが好い。何の手數はない只ハガキ一枚を認めて東京市京橋區弓町二十二番地弘濟院、中南定太郎又は大阪市東區安土町堺筋、弘濟院中南定太郎へ申し込めば、常時學士の『腦神經衰弱療法』『精神療法』の二冊子は直に無代贈呈さるゝのである。本書は容易な文章で何人にも即解出來るやうに簡單な療法が書いてあるのである。人は自分自身の醫者である神である。自分の心掛一つで幸不幸は分れる。無遠慮今直に申込むがよい。藥價五十錢（一週間）一圓二週、三週、五圓五十錢等で各藥店に販賣して居る

慶安太平記

第六十八席 小金井芦洲講演

バラ〳〵ッと右左から躍り出した平岩彌一・松崎源吾、中にも千曳仙太郎と言ふ男は餘程勝氣の人と相見ゑまして、第一番に縁側から飛おりると拔く手も見せず太刀を大上段に振冠つて斬込んだ、傳助の丹三郎ヒラリと右へ身を躱しましたが、其早きこと燕の如く、豫て若狹屋へ預けて置いた秘藏の一刀拔くよと見る間に横に拂つて、斬り返しの太刀先が充分に胸元へ這入つたから何條堪まりませうや、千曳は血煙立つてバッタり倒れた、玄龍是を見ると烈火の如く怒り 玄『ヲレ千曳がやられた、各々……』と三方から斬込んで來る

丹三郎は何か小楯に取らなければ後に廻られる憂へがある、何んな豪傑でも後に廻られては堪まりませんから、庭前に泉水の傍に立つた大きな赤松の幹を小楯に取つて前後左右に眼を配つた、今鬼松玄龍が前面から斬り込んで來た奴をチヤリン〳〵と二つ三つ合せたかと思ふと大喝一聲 丹『卑怯未練の鬼松思ひ知れよッ』とばかり疾風の如く手許に繰込みザックリと一ト太刀、玄龍受けやうとしたが受け損じて肩先から乳の下かけて充分に斬り下られて『ウムーン』と其處へ倒れました、松崎源吾が横合から飛込むのを腔を引つ外して横に拂つた刀が健かに胴に這入る、途端に後の松の影から平岩彌一が斬込んで來るのを太刀風三寸にして身を躱したその早業 丹『ヤッ……』と言ふと前にタヂ〳〵タヂと俯つて來るのを首筋へ斬込んだ、丹三郎の刀が餘程鬼かつたものと相見ゑまして首は美事に斬られて泉水の中へボチヤーリ……○『オ、冷てゑ』なんと言ふ間もなかつたらう、兎も角も茲に四人は斬つて落しました、イヤ驚いたのは千曳仙太郎の家族のもの、下女若黨などお往左往に逃げ惑ふ、丹三郎は大音擧げ 丹『アイヤお騒ぎなさるな、家族の方々御身達に對して危害は加へぬ……』と血を拭つて鞘に納め、悠々さして此處を立ち去りましたが、何にしても最う仲間の姿では居られませんから一旦鬼松の屋敷に立歸り自分の柳行李の中から羽織袴を取出し元の通りの立派な姿になつて大小を差し、此儘逐電をして了へば其れ迄なれど、夫れぢや若狹屋傳兵衞がどんな迷惑を蒙るか知れないと思つたので一旦若狹屋を指して還つて參りました 丹『傳兵衞』 傳『オヤ是りやア若旦那で、能く御辛抱をなさいますな、今日は何所へお使ひで……だが可怪しいぢやございませんか、羽織袴のお姿……今朝も家の奴とお噂をして居たんでげす、如何に粹が身をふとは言ひながら明石で立派な戸村の若先生、樂をしてお出でなさることの出來るお身の上が、武張つたことがお好きなばつかりに家を外に飛出して、此姫路にお出でなされ、私共のやうなものでも使つて仲間奉公、夫れでもマア能く御辛抱が出來ると斯う言つてね褒めちぎつて居たんでげ、切望マア此方へお上がんなさいまし、どうです、ちつとは蹴れましたかい 丹『イヤ、餘り褒めて異れるな、實は今鬼松の所を暇を取つて來たのだ 傳『ヘエー、どうして暇を取つてお出でなすつた 丹『飛んでもない心得違ひの奴だから今四人チョイと殺つて來た 傳『何を四人やつて來たので…… 丹『驚くなよ、實はこれ〳〵斯う言ふ譯、疑ひ深い鬼松玄龍、喧嘩に彼る筈はない身に降りかゝる禍ひは拂はなければならぬ、縁に繋がる千曳仙太郎の家で玄龍を初めと致して千曳平岩松崎の四人をチョイと斬つて來た』

皮膚科 外科 專門 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二三五八番

年賀状から (二)

三十一になつた梅の蕾のふくらかなる春ぞ　柏木椰子梅

しろく醉つて出づる元日の職人が女にやさしいのだ　大久保藏敏

娘らかたまつて一つの火鉢を圍み　齋藤 昌三

湯治人達の紅葉を惜がり　加山 可山

元日鶏籠ぐストーブ燃ゆつきぬ　山縣 風帯

社頭の闇ほの〳〵と鶏が鳴き交はし　松田 方南

醜さのすべてが雪となつて明けた　水谷金福城

勞働者太刀魚をうちかされ笑つた　内野 竹亭

金鍋 ちり寄鍋 會席料理 仕出し 本町五丁目 權十庵 電二三七

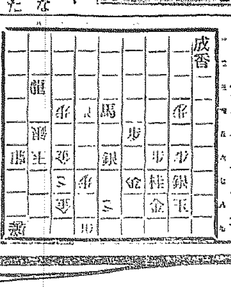
將棋新手合(完)

於漢陽佐田眞作氏宅

角落 六段▲溝呂木光治(京城)
番 三段△佐田眞作(漢陽)

(圖は前號指了迄の局面)

△七九歩▲同金△八八歩▲九七玉△一七玉▲一五歩△二五歩▲四六歩△同金▲三四桂△四四馬▲四六桂△二六玉▲三八桂ナル△二四歩▲三七成桂△二五玉▲二七成桂△二三歩ナル迄にて持將棊



△持駒 佐田氏 桂香歩

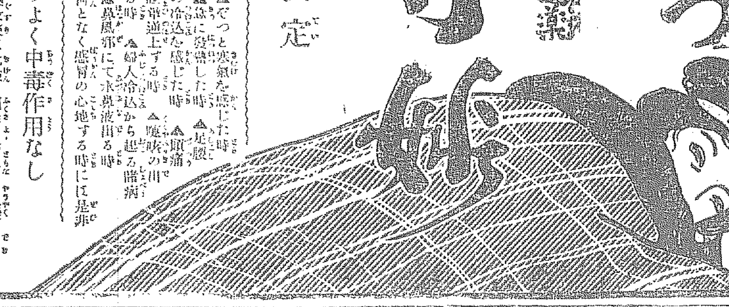
一月十五日

(舊暦)十二月七日 ▲土曜日 ▲戊寅 ▲六白 ▲暗劔戌亥 ▲赤口 ▲胃宿 ▲除

▼六白▲如何に奮發しても結局は無收穫に終る日短氣にして凶
▼七赤▲上首尾の日平生なれば難事とする問題も譯なく解決す
▼八白▲何事にまれ効果あるべく起業旅行求職結婚等何れも吉
▼九紫▲物事喰ひ違ひ易く面白からざる日新事不利舊事は平調
▼一白▲幸運盛大の日文藝又は商業等大に發展す進むほど有利
▼二黑▲運氣十分ならず諸事躓き易きも焦ると損を招くべき日
▼三碧▲始終よく考へて行ふべし中庸さへ得ば自ら吉運廻はる
▼四綠▲平運の日落着あれば相當の利あり急がば損する事あり
▼五黄▲纏まりよき日商取引大利を占む訴訟沙汰の和解上首尾

智識階級で 理想の感冒藥は 選擇の結果 最も服みよく キキメ確かで 危險な中毒作用のない

かぜ ねつ 婦人 冷込藥 守妙 に決定



▲ぞつと寒氣を感じた時 ▲急に發熱した時 ▲足腰の冷込む感じた時 ▲頭痛で肢體が逆上する時 ▲婦人が冷込から起る諸病 ▲咳嗽の出る時 ▲鼻風邪にて水洟の出る時 ▲何となく惡寒の心地する時には是非

守妙を急いで服むの必要時

服みよく中毒作用なし

凡て他の丸藥散藥は危險な副作用が伴ふ洋藥で出來て居りますが之れに反して植物性純和漢藥の振出藥「守妙」に限つてはいくら服むでも中毒の危險性なく体一番味よく非常に服みよい藥で服めば服む程體内を温め健胃整腸、頭痛を鎮靜する等丸藥散藥類には到底得られぬ特長がありますから淡陰の折是非お試し下さい願ひます

定價 二十錢、五十錢、一圓、二圓、三圓

賣弘本舗 東京下谷池の端仲町廿七 守田治兵衛 電話下谷二九八五 振替東京五三九

●全國到る處の有名藥店にあり

内科 胃腸病 診察午前九時 京城本町一丁目 石川醫院 電話一三九〇番

醫化學諸器械一式 藥種賣藥卸商 (K) 仁川本町 北島藥店 京城本町 北島藥店支店

舊臘類燒の爲め不取敢假營業所に於て營業罷在候處本店並に内地より續々入荷有之愈々商品整備仕候に就ては今後一層の努力と勉強とを以て御用命に應じ可申候間倍舊の御引立奉希上候

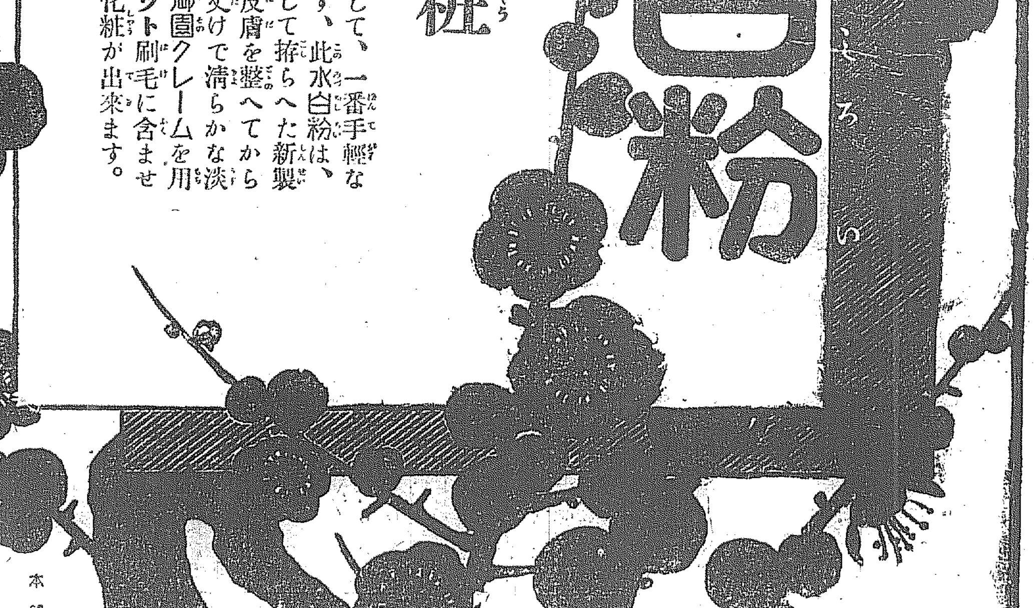
營業品目 土木用鑛山用具 帆布及麻各種 ペンキ、油類各種、胡粉、補造 マニラロープ ワイヤロープ 天幕製作ニ應ズ

京城南大門通五丁目 村谷京城出張所 電話三七一番

御園白粉

清新な淡化粧

御家庭向きの上品な淡化粧として、一番手輕なのは、御園水白粉の淡化粧です、此水白粉は、原料から香料まで十分に精撰して拵らへた新製品で、化粧水御園四季の花で皮膚を整へてから此水白粉をおつけになります丈けで清らかな淡化粧が出來ます、尚白粉下に御園クレームを用ゐ、その上に御園粉白粉をポット刷毛に含ませて刷附けても上品な美しい淡化粧が出來ます。



(一)

本舗 伊東胡蝶園 發賣元 丸見屋商店

コレハ實に立派な目藥だ!!

醫藥學の進歩に伴ひ、深遠なる學理と、數多の實驗から、絶對の偉効ありと信認せられたる直治水は、今や智識階級から盛んに賞用せらるゝ、新時代の貴重なる眼科新藥である。

理想的の眼病良藥 直治水

眼病良藥 直治水 CHOKUJISUI

主効 ◘トラホーム◘やに目◘雪目 ◘はやり目◘うみ目◘[illegible] ◘かすみ目◘[illegible]◘星目

定價 新式容器入 二十錢 三十錢

●全國各藥店に販賣有之候

本舗 大阪市南區順慶町 東京市日本橋區 丹平商會藥房

金利引下問題

片山鮮銀理事の談

京城業東電は預金利下問題の協定近かるべき事を報じてゐるが右に就き來城中の片山鮮銀理事を訪へば曰く『成程金融は變態的ながら大緩漫を呈してゐる然しコールの激落は銀行間の取引であつて銀行の一般貸附並に割引率は一時に比すると軟調だがコールのやうに低落はしてない然し預金利子引下問題の出でる事は當然である唯目下直に利下げを決行する事はあるまいと結局協定率の嚴守位に留まりはせぬ乎と思ふ無論引下げの時期は來るであらうが夫れには若干の時日を要しやう財界の前途は樂悲兩樣の見解あれど予等の考へではヂリ〱整理を進めて行くのではあるまいか又漸進的の歩調が最も財界の緩和にとつて歡迎すべき事である隨て金利を引下げ人爲的の手段を加ふる事は避けた方がよくはないか尤も輸出資金の如きは貿易賑勵の意味より特に當行の如きも引下げてゐるけれど一般的に云へば内外の事情は尙ほ利下の時期に達してないやうだ

を缺ぐこの意向であれば財界状態の一變と取引の堅實になつたのを理由としてある程度まで鮮商の要望を容れるのもよからうと思ふ……と云ふにある

綿布商は語る

有力なる京仁布木商側の要望もではある然し吾々としては農村疲弊その他の事情よりリスクを減ずる上に於て二十日の延べは現金にもして欲しい位なのである折角期間を短縮し取引の堅實を來したのを又復延長する事は俄に贊成も出來ぬ然し本問題は綿布業者のみの問題でないから各方面の意見に基づいて適當の方法をとるべしであらう

會議所の態度

京城商業會議所は道面布木商取引期間延期問題に就ては未だ居中調停をなす迄の問題と看做し居らず勿論當事者相方の間に圓滿解決さるべき問題として傍觀的態度を持し居れり

綿布延取引問題

歸着點如何

朝鮮布木商の綿布取引期日延期問題に就て京仁綿布商組合員は十二日午後一時より共益社樓上にて會合し種々協議せるが本來布木商側は金融切迫の關係上延期申出たるにて不賣同盟等の不穩なる事實に基因せざること、之に對する京仁綿布商側の態度は事情尤もなる次第なるも目下の綿布界の商状よりして現在の二十日延び以上に延期し能はずとのことに略協議決定せるも更に十五日布木商及び綿布商側の兩代表の會見をなし相互に遲樣なき意見の交換をなしたる上綿布商組合最後の態度を決することゝして午後四時散會せり

銀行側は曰く

朝鮮布木商側の綿布延取引現行の廿日を卅日にせられたいその申出でに就て市中多數の銀行側の意向は實際卅日を廿日に短縮したのは主として財界の不安並に投機思惑の抑制にあつた然るにその後の實狀殊に昨今は全く實需の取引のみで綿布商内は殆どないのである農村の金融難より商品代金回收の延期に伴く狀況である鮮商側が卅日に延べて欲しいさなくては取引も圓滑

增配内定

鮮銀一割

朝鮮銀行の大正九年下半期純益金は三百五十五萬八千圓にしてその拂込資本金五千萬圓に對する割合は一割四分に相當するを以て一分增配の一割配當をなすも配當金は二百五十萬圓にて足り役員賞與政府納付金を控除するも各種積立金は相當多額に上る關係並に同行の增配は數期に亘る問題にて他の特殊銀行の配當に對比し遜色ある等の事情もあり十二日の同行重役會にて配當を一分增の一割となす事に内定せりと確聞す從つて同行株は尙ほ相當の伸力を示すべきか

朝紡社債發行

同社の現に朝鮮に所有し當然事業に引繼ぐべき煙草代金は資産一千餘萬圓中に包含され居れるにつき結局同社の朝鮮撤退に際し總督府より受くべき金額は一千萬圓内外に達するものの如しと

朝鮮紡織株式會社にては朝鮮銀行の信託引き受により社債二百萬圓を發行するに決定したるが發出價格九十六圓利率年八朱にて利廻り九分五厘以上

發行事情

同社にては機械の續々到著せるこ釜山に於ける建築の進捗に伴ひ多額の資金を要するも財界の現狀は拂込みを許さず勞社債を發行する事となりしものなりと

米穀金融額

約二三百萬圓か

殖産銀行の生産業者に對する金融は既に開始したるが資金の融通は結局二三百萬圓位に留まるべきかと觀測さる

鮮銀會議終了

片山理事の來城後開會中なりし同行重役會議は十三日を以て決算並に人事問題の協議を了し一段落を告げしにつき片山理事は十三日夜若くば十四日朝退城歸東すべしと

農事會社

協議結果

朝鮮農事改良會社の今後に於ける施措協議は十二日朝鮮ホテルに開會内地人側は井上角五郎氏鮮人側は中央地方の發起人有力者四十三名會合結果左の如く決議したり

一、委員を設け總督府に會社の設立遂行に就き陳情する事

一、上京委員を選定する事但しその選定は代表者に一任す

一、嚴柱益氏の提案に贊成する事

各大臣へ補助費豫算編入

（提案は各大臣へ補助費豫算編入の上申並に會社の必要の陳情書なり）

尙ほ上申書は十二日夜郵送し請願書は近く發送すべし又十三日韓相龍尹致昊嚴柱益尹炳學氏等六名は總督府を訪問會議の結果を陳べて盡力を求めたり尙ほ井上氏は十四日歸東する由

東亞買收費

約一千萬圓

東亞煙草會社の總督府にたける買收費は略拂込額の五百六十餘萬圓ご内定せし模樣なるが右は機械建物土地等の所有財産評價にて

京電重役改選

京城電氣株式會社の大橋社長木本專務山口村尾外取締役監査役は任期滿了につき來る二十九日の株主總會にて改選を行ふ由

財界閑話

鮮銀も配當据置きこの豫測有力だつたが結局一分增しの一割に内定▲三百五十六萬圓の下半純益は對拂込み資本一割四分強に當る一割の配當は算盤をもつてピン／＼である▲公債社債に向つた資產階級の買氣が準公債とも目すべき一流特殊銀行株に向ふのは金融緩漫の折柄當然▲人氣の向つてゐる時に增配の材料を出しては鮮銀株主もホク／＼ものだらう▲殖銀も增配内定模樣に株價はムク／＼吹き出した▲親株額面を超へ新株も中々好勢である▲唯昨春以來銀行の株主は浮かつた然も待てば海路の日和と云ふ形ち▲京電も一割配當は動かぬ所だが經費增しのため償却は少額しか出來ぬらしい▲然らば役員賞與はさ木本專務に當つたものがある▲君の返事はムニヤ／＼だつたさうで矢張り前同樣二萬圓とのこと

○日銀報況　十一日現在左の如し

發行高	一、一二八、七九四
正貨準備	一、一二八、七九四
發行餘力	一二〇、〇〇〇
信用高	九四、九六三

○鮮銀發券日報　十二日現在左の如し

發行高	一〇五、一六二、六六五
正貨準備	五六、四三一、八五九
限外發行	―

○京阪金利　十二日現在の如し

	東京	大阪
コール 無條件	六、〇	五、〇
翌日物	六、〇〇	…
六十日物	一、五〇	…
普通歩合	二、〇〇	…

株式（十三日）

前場部分高

前場は雜株依然高低區々なるも鮮銀殖銀等銀行株の目立ちたる活躍に場面稍緊張せり即ち京取同新同事拓新三十錢高鮮銀は寄付十錢高なりしも引際先高見越しの買氣集中して一躍二圓五十錢方奔騰し百二十二圓五十錢を示し新株亦一圓方の昂騰となり殖銀舊五十一圓と額面を拔き（亞新四十錢安仁取二十錢高實銀同新商銀同事談銀三十錢安朝紡は前日後場一圓方の賣進みを示し今朝十錢高に依然堅調を維持し滿毛十錢高京電四十錢安電興同事東錢高）朝煙一圓二十錢安（朝郵同事中鐵五十錢安滿鐵新寄十錢高を示せり）

後場は好調

後場は鮮銀殖銀の躍進を初めとして諸株一齊に好調を呈し京取も稍引締りて八十錢高となり殖新十錢高拓新は一氣に二圓五十錢方奔騰して十八圓となり鮮銀は增配氣構への買物に人氣爆發して百二十六圓に寄付大引七圓十錢高し新株亦三圓高の五圓五十錢と寄り六圓五十錢に引け東拓舊株五十二圓に寄り三圓と引け其他も三十錢方引締れるが只仁取は六十錢安を呈せり

鮮銀株活躍

增配決行か

鮮銀株は東京高の刺戟を受け前日前場を通じて二圓方の昂騰を演じたるが今朝更に消息通とも目すべき手筋の買物集中して一舉二圓五十錢方の奔騰を示し新株亦二圓の昂進となれるが右は同行株主の久しき希望なりし增配の件今期より愈々決行さるゝ事に内定せる早耳に依るものゝ如く現に當地某有力銀行家も之れを認めたる由なり同行今期の業績は利益金三百五十五萬八千圓あり假に一割配當とするも二百五十萬圓にて足るべきを以て夫れより賞與金政府上納金を控除するも尙七八十萬圓餘剩あり之れを八分に買ふも百二十八圓の價値あり若し七分に買へば百四十二圓迄の買餘地ありと云ふべく要は殖銀等に比較せば七分利廻りに買ふも何等危險なかるべし殊に最近の金融緩漫よりして内地に於いても銀行株に買氣集中し居れる現狀なれば人氣の趨く處百四十圓買現は案外容易なるやも計られざるべし

後場更に爆發

後場新田の買物に舊株百二十六圓と三圓五十錢高に寄付き跡續いて買へど賣なく四圓のバイカイを付け二の廻り六圓二十錢に寄付大引七圓十

東京現株高

今朝の東京現株電報は別項の如く鮮銀更に一圓高の百二十三圓拓新三圓十錢高の十八圓滿鐵四圓高の百十四圓殖銀五十錢高の五十二圓新株同五十錢の十六圓と入れたり

昨日の後場は遞落せり新株は今朝三圓五十錢高の四十五圓五十錢と寄り跡更に一圓方上伸して六圓五十錢と躍進せり

前場ノ乙部

乙部は安取十七圓四十錢跡五十錢より七十錢と引締りたり同株は安東地場に於いても營業認可指令の到達以來頓に堅丈を呈し當地よりの買注文も資物薄の爲め容易に出合はざるもの如し

後場ノ乙部

安取十七圓五十錢▲大新六十五圓五十錢▲新東七十九圓▲上取六十九圓十錢▲日石新七十六圓跡八圓五十錢

株界片々

仲買人組合總會の結果は意外の人物が委員に飛び出した片々の人物の如きはさすがに人々の口に上る外云ふ々すいの云ふたのは入れぬ何でも早くも本人達が自ら浮なく傳へられる委員に當選したとは意外なれ運動したと云ふて悲觀に…たら那感ずるのである▲其の意志が那邊に在るかは推測する限りでないが裏の過激派穩和派以來一旦圓滿になれる仲買人間の感情が此の爲め再び疎隔せんとするのを悲しむ▲有浦氏の當選に就いては頗る面白からざる痕跡を留めたと云ふのは田中金融組の兩氏が現に廢棄の意思を表示して廢棄届けを提出中であるのに拘はらず之れに投票權を行使せしめたことである▲兩氏の廢棄が未だ市場より公表されないにしても本人が直接仲買人間に意思を表示した以上總裁上よりする言とも田中氏は内地旅行中にて本人の意思でないこと明らかである▲猶…を標ずる者は曰く有田白井兩君の如き廢棄の意思あることは明らかだが信託問題以來市場に對する懲思心極度に達しどうせ廢めるなら極力市場を紛糾さして散捨すべからざるやうになし機を見て斷然廢業し市場のゴタ〱を利用し一方に現物問屋を組織して市場に對抗せんとする下心ならんと▲之れは又餘りに穿ち過ぎた邪推じやが兩君にして仲買組合の圓滿市場の發展に努力する誠意あらば斷ち排斥すべき理由もあるまい▲井口委員の辭任届けは更に一波揺らぐらしいが川崎櫻谷氏亦委員を辭せんか波は益々高くなるらしい

仲買委員選定

又復紛擾

既報の如く十二日午後五時より京城食堂に仲買總會を開き役員の補缺選擧を行ひたる結果有田良櫻谷與三郎井友之助の三氏當選せるが有田白井の兩氏は鮮人側に對し猛烈なる運動を試みたるやに噂せられ甚だしきは田中金融兩氏の如き現に廢業届の提出者の委任狀をも蒐り集めて反對者多く井口委員先づ委員の辭退を申出でたる由にて同氏愈々辭任を決行せば川崎副委員長並びに櫻谷新委員も辭退せんとする雲行きとなり仲買組合は益々紛糾を重ねんとするも

兩仲買認可

安東證券株式現物取引市場仲買人たる事を目前に認可申請中なりし北村友一郎及李青の兩氏は十一日附夫々仲買人を認可されたり

同社の事態右の始末なるを以て委員長の互選は遂に無期延期となれり

上海株況

上海當月限四十兩半（半兩）高日華紡三十三（兩同）事絲系水月紡合百五十八（兩二兩安）對日爲替六十七兩一兩高となれり（上海十一日發）

銀塊市況

倫敦銀塊三十九片二分の一にて八分の五方低落せり（倫敦十一日發）

紐育株況

株式市場は手堅く常日紐育銀塊相場は六十五仙四分の一となり八分の一方引返せり紐育十一日發

コンチネンタル八十四弗と一弗高アナコンダ銅株三十八弗と同事（紐育十一日發）

先般繁栄店ニ於テ多數買入レタル殖產銀行新株式拾貳圓五十錢拂込ミノ舊株券ハ數千圓以上必然ルニ該株券ハ以テ何レヨリ廻リ來タリタルモノナルカ不明ニ付御心當リノ方ハ至急御申出被下度此段廣告候也

有價證券現物問屋　古閑豊記商店　京城本町一丁目　電話一〇番二〇貳壹番　大正元年創業

京城現株市場主要株出來値（十三日）

銘柄	前場 今週中	前場 來週中	後場 今週中	後場 來週中
京取 引寄	三二、五〇	三二、五〇	三三、五〇	三三、八〇
殖新 引寄	一四、七〇	一四、五〇	一四、三〇	一四、六〇
東新 引寄	一五、五〇	一五、三〇	一六、〇〇	一七、八〇
東新 引寄	…	…	…	一八、〇〇
仁取 引寄	一五、七〇	一五、七〇	一五、〇〇	一五、〇〇
鮮銀 引寄	一二〇、五〇	一二三、五〇	一二三、〇〇	一二五、〇〇
同新 引寄	四〇、〇〇	四〇、三〇	四〇、五〇	四六、〇〇
殖銀 引寄	五〇、五〇	五〇、五〇	五〇、五〇	五一、五〇
貯銀 引寄	九、〇〇	…	九、〇〇	…
商銀 引寄	一八、〇〇	…	一八、〇〇	…
同新 引寄	一三、五〇	…	一三、四〇	…
韓銀 引寄	三一、五〇	…	三一、五〇	…
同新 引寄	一三、〇〇	…	一三、〇〇	…
韓銀 引寄	三〇、〇〇	…	三〇、五〇	…

銘柄	前場 今週中	前場 來週中	後場 今週中	後場 來週中
東拓 引寄	五一、〇〇	五二、〇〇	五一、五〇	五三、〇〇
鮮土 引寄	…	二〇、〇〇	…	二〇、〇〇
朝紡 引寄	三〇、〇〇	三〇、〇〇	三〇、〇〇	三〇、〇〇
滿毛 引寄	一四、〇〇	一四、〇〇	一四、〇〇	一四、〇〇
京電 引寄	四一、〇〇	四一、〇〇	四一、〇〇	四一、〇〇
同新 引寄	…	六、〇〇	…	六、〇〇
電興 引寄	六九、〇〇	六九、〇〇	六九、〇〇	六九、〇〇
東亞 引寄	三六、〇〇	三六、〇〇	三六、〇〇	三六、〇〇
朝煙 引寄	三二、〇〇	三二、〇〇	三二、〇〇	三二、〇〇
朝郵 引寄	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇	二〇、〇〇
殖鐵 引寄	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇
中鐵 引寄	三三、〇〇	三三、〇〇	三三、〇〇	三三、〇〇
滿鐵 引寄	一〇九、〇〇	一〇九、〇〇	一一〇、〇〇	一一〇、〇〇
同新 引寄	三三、七〇	三三、七〇	三三、五〇	三三、五〇

東京現株特電

銘柄	十三日前場	十三日後場
鮮銀	一二三、〇〇	一二二、〇〇
同新	五〇、〇〇	四〇、八〇
東拓	一八、〇〇	―
同新	一四、〇〇	一四、五〇
殖銀	五二、〇〇	五二、〇〇
同新	一五、〇〇	一五、五〇
同株	一六、〇〇	一五、〇〇
東新	二四、〇〇	二四、〇〇
運取	一七、〇〇	一七、〇〇
滿毛	一二、〇〇	一三、〇〇
朝紡	一四、〇〇	一四、〇〇
滿鐵	一一〇、〇〇	一一一、五〇
日紡	八八、〇〇	八六、五〇

大阪株式特電

銘柄	十三日前場寄付	十三日後場大引
大株	一一七、三〇	一一五、九〇
郵船	一一三四、二〇	一一三四、〇〇
同新	五一、五〇	五一、五〇
商船	六三、八〇	六三、三〇
同新	二〇、〇〇	二〇、〇〇
鐘紡	二三六、一〇	二三五、六〇
同新	一三六、〇〇	一三五、〇〇
東紡	二一三、三〇	二一三、五〇
東糖	七六、五〇	七六、〇〇
上取	六八、六〇	六八、〇〇

銘柄	十三日前場大引	十三日後場寄付
大株	一一七、〇〇	一一七、九〇
郵船	一三四、八〇	一三四、〇〇
同新	五一、四〇	…
商船	六三、五〇	六三、九〇
同新	二〇、〇〇	…
鐘紡	二三五、九〇	二三六、〇〇
同新	一三六、〇〇	一二七、四〇
東紡	二一三、五〇	…
東糖	七六、四〇	…
上取	六九、二〇	六九、〇〇

安東株式特電

○十三日

	寄付	大引
安取 當	一七、三〇	一七、三〇
安取 先	一七、五〇	一七、五〇

安東證券信託仲買人　原田株式店　安東縣市場通　電話七四番二七〇番　八六番四四〇番

大連株式特電

○十二日

	寄付	止め
運取 當	三三、二〇	三三、五〇
運取 先	三五、四〇	三六、一〇
東貨	…	…
滿紡	…	…
滿鐵	…	…
同新	一〇八、〇〇	…

米況（十三日）

仁川期米

十三日前場

前日阪地の小戻しと共に二十二圓十三錢と跳上げ十錢と強硬裡に打止めし折柄引跡東京米名の減切高に阪地の氣配高を添へて今朝は更に人氣を高め當二十二圓五十錢中川來ず先二十二圓二十五錢と五日の止め値より十五一高に寄付けり

▲第二節　阪地電報の延著に買方見送りを呈せしかば其の隙に乘じて軟派賣崩しを試みんと當川來ざるも中七十錢に始め先十八錢と七丁安に寄付きしが買方も透かさず防戰して忽ち二十七錢と跳上げ場面稍變りに引

▲第三節　大阪寄二十六圓十九錢に中七十五錢と入れしかば當川來ず二節二十三錢と餘り變りなきも先三十二錢に始め軟派の防戰に二十九錢と下進りせしが押目は小口の逃げ腰に三十八錢と跳上げ五錢と氣丈に引

▲第四節　當五十錢中寄の賣買いに七十六錢と始め先三十五錢より四六錢を採合いしも買方の態度益々強硬に四十錢さシッカリに引

▲第五節　當中出來ず先四十錢七八錢を持合ひ五錢と伸力鈍く引

▲第六節　當盤の買物に五十五錢中來ず先三十三錢に始め三十錢と下通りしも目先筋の手詰め買に三錢と返して大引せり

底意強硬

阪地の二十六圓當市場の二十二圓門は如何に比較すべきかと觀ればより桑名の夕場高に今朝は阪地も弱氣を持直し存外底意強硬を感ぜしめしかば賣氣に逸り人氣も弗々と付かんとなす振合する場付きの模樣は漸次一變し來らんとする形勢なるが併し此の儘保合ひ上放れとなるや否やは斷定し難きも阪地の相場の強硬による自然其の谷みを築き場の崩れ高は免れざらんか

後場躍進す

▲第一節　大阪寄止め六圓二十五錢當寄三十一錢と高移りに當中出來ず先十二圓四十錢と七丁高に寄付

▲第二節　當中川來ず先四十錢の高値に人氣立ち一變して六十六錢と躍進し五十九錢と強硬に依合して五十六錢

▲第三節　當川來ず中も八十錢迄五錢と辷りたるも先六十錢に公定七十九錢先六十錢びたるも大阪のダレ模樣に賣物を嗅び五十錢と進込みて引公定五十三錢

期米雜觀

正米は内地からの買ひ注文がバッタリ止つてしまつたので頭痛八百に陷つて居る夫れに定期は人の病氣を頭痛に病んで堆るのかと二十二圓處にすまし込んで御座るにはまつ込んで堆っている…(以下判讀困難)

京城正米市場

各地正米の軟調と定期高を以て人氣は一服の景況

精白米一服平

各地正米の軟調と定期高を移して元来が割高相場なりし上賣物も絶えず目下の所可なりの迴着を見つゝあり旁々人氣も北鮮的落付模樣を呈し尙ほ客筋から買人一圓内外引上げ人氣も二十一圓二三十錢の高値を呈すに至り内地向外國米注文の杜絕と原料手持の關係上買急ぎ筋乏しき爲め引續き既合ひに推移しつゝあり

仁川正米市場

精白米は移出口さして大阪神戶の十八圓一二十錢見當一唱へなるが各方面共注文途絕え手持原料の所々は漸次手除き模樣にて原料の合ひの折柄今朝は殆ど二十七圓七八十錢の軟調を示し中には六圓と云ふ所もあり内地買注文依然として見送りの姿にて當地の手堅さと定期の氣配に伴ひ…

釜山正米特電

一二三十錢高

群山正米特電

二二十錢高

東京正米反撥

六十錢高

昨三十日後場の東京正米は今朝依然保合の態度を示し…

賣買差引殘

東京期米特電

大阪期米特電

○十三日前場

	寄付	止め
當限	二十五圓六十四錢	二十五圓六十四錢
中限	二十五圓八十錢	二十五圓八十錢
先限	二十六圓四十一錢	二十六圓四十一錢

下關期米特電

各地期米特電

○十二日後場止め

東京	二六、八八
大阪	二六、〇六
兵庫	二六、八〇
下關	二六、一七
桑名	二五、八〇
名古屋	二五、六九
熊本	二五、八〇
金澤	二五、六〇

大阪三品特電

綿絲 四十片

米棉は一圓五十錢

方跳返りせ

前場商内

○十二日後場商内

當限	甲米不申
中限	玄米百石二二〇〇
先限	玄米百石二三〇五

取組高（十二日現在）

一月末	七〇〇石
二月中	二〇〇石一〇〇石一八〇石
二月末	五〇〇石

大豆

引續き捗しき買人なし今度地の安値買見送りさ各地正米の小締まりに多少强氣く今朝は金郊の當の賣拂十圓七八十錢と持合ひて一圓十錢より八錢見に打止めたり

玄米

定期の騰がりさ各地正米の小締りに歡樂又幾分氣を持ちたるやの心地なきにあらず併し限月先舊節季にいるの前に歩み得ず前年は一月の先行きの思惑筋が品薄と相場の利出し甚だよし…

京城穀物延取引

仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎　電話長三三七番　二六八番

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　電話九〇二・九〇一　又八（カネミ）

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　本店電話一七二・二三八

仁川米豆取引所仲買人　那須仲買店　仁川海岸通三丁目　電話長三三一・七六三　又八（二）

仁川　仲買店　長電話一〇五

各種毛布　代理販賣開始

今回弊代理部に於て大阪株式會社二口商店製各種毛布の代理販賣を開始致し値段も至極廉價に好評を受けて居ります

純白毛布二枚續き　價格金參拾參圓也

茶純毛布二枚續き　價格金參拾圓也

茶混毛布二枚續き　價格金拾八圓也

鼠毛布二枚續き　價格金拾ニ圓也

茶毛布二枚續き　價格金七圓參拾錢也

茶毛布二枚續き　價格金六圓參拾錢也

色花模樣毛布一枚　價格金四圓八拾錢也

色花模樣毛布一枚　價格金參圓貳拾錢也

京城日報代理部　電話二七四八番　振替貯金口座京城二〇〇九番

最も安心の出來る靴

ボックス上革　一號金五圓五十錢　二號金六圓五十錢　三號金六圓五十錢　特別製八圓五十錢

ボックス形　一號金五圓五十錢　二號金六圓　三號金六圓五十錢　特別製九圓五十錢

ボックス深ゴム　一號金六圓五十錢　二號金七圓　三號金七圓五十錢　特別製十圓五十錢

御注文の節は靴の種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包にて御送附申上候

定價表進呈　郵券二錢要

東京本所三ノ橋際　松本高等靴製造所　電話本所一五〇九　振替東京二五五八　電略（マ）又（マツ）

直接提供

京日案内

川合時計店　京城本町二丁目　電話二一九八　振替京城三三九

看護婦及び調劑生入用　活動寫眞機械至急讓ル　希望ノ方ハ左記ヘ　山崎　京城黃金町三ノ二三五

今村醫院　小兒科内科　京城若草町大通　電話一八三二

オキシヘーラー　疾病根治▲蓄氣應用吸入器　販賣部朝鮮本部　説明書呈　北米倉町八四　振替京城二七九八

▲事務員採用　中學卒業程度以上ノ男子ニテ有望ノ者ハ書面ニテ履歷書携帶來談ス　京城旭町二丁目　商業興信所

讓店　年純利益五千圓以上の儲内地引揚げに付讓度し　照會の方は京城大門市場伊佐玩具店電話二三七番へ

看護婦見習入用　希望者は履歷書携帶來談あれ　仁川新町　井上病院

讓度機關　中古六馬力瓦斯發動機及び搗精機　附屬品共讓度し

本邦製圖家養成　創始製圖講習錄　最新式通信教授にて收入多大なる製圖家を短期に養成す　詳細規則無代進呈　東京京橋南傳馬町二丁目　通信工手學校

謹告　釜山府立病院耳鼻咽喉科長在勤中は公私共一方ならざる御厚情に預り深謝候然る處今般辭職致し當地に開業仕候間何卒倍舊の御愛顧賜り度先は御禮旁々謹告仕候　大正十年一月　國分禮吉

醫院開業　耳鼻咽喉科專門（入院隨意）　釜山府大廳町二丁目（初勢北隣）　醫學得業士　國分禮吉

新案五色漬發賣　養老漬

從來市場ニ發賣セラルヽ漬物ハ總テ其材料ヲ乾燥シテ漬物トスル方法ト異ナリ即チ生物ノ儘ヲ特殊ノ方法ヲ以テ製出セル物ナレバ第一胃ノ健康ヲ害セズ消化ヲ助ケ便通ヲ快通ナラシムルヲ要旨トシテ研究ヲ遂ゲ製出セル者ニシテ開業日淺キニモ關セス酒飯兩樣ニ適スル漬物トノ好評ハ敢テ他ニ非ラサル也

右地方特約販賣店ヲ募集ス　希望者至急申込あれ

五色漬　養老漬　製造發賣元　東京市牛込區早稻田鶴卷町三〇七　海軍軍用御用達　古藤商店罐詰部

資本金八千萬圓　拂込濟資本金五千萬圓　積立金七百六拾五萬圓

朝鮮銀行　總裁　美濃部俊吉

朝鮮京城南大門　振替口座京城三三三番

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務並朝鮮滿洲及浦潮斯德ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候

支店出張所　内地　東京　大阪　神戶　下關　朝鮮　釜山　仁川　平壤　鎭南浦　元山　群山　木浦　大邱　滿洲　大連　開原　安東縣　奉天　奉天新市街　長春　吉林　四平街　鐵嶺　營口　遼陽　旅順　傅家甸　齊々哈爾　哈爾賓　支那　上海　青島　天津　濟南　浦潮斯德（貨幣交換所）　米國　紐育　英國　倫敦、巴里其他内外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

イケダ小兒内科病院　池田季雄　京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目電話（病院二二三四番　自宅三〇〇番）

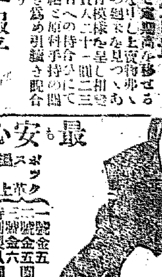
東海生命相互保險會社　共同火災保險會社　ニツジウランド火災保險會社　代理店　綿系布及雜貨　輸入貿易商　仁川本町四丁目　河野本店

宮内省御用達　山邑酒造株式會社釀造　兵庫縣灘魚崎

櫻正宗　發賣元

山邑酒造株式會社京城支店　京城明治町二丁目　電話長八四九番・一四五番　振替貯金口座京城七五四番

サクラ正宗



曙

德田秋聲
(挿畫)近藤紫雲

第四十一回

初戀の人(6)

其晩、絢子は夕飯後、氣は進まなかつたけれども、義理々々際のつもりで、お須磨と一緒に出て、其所らを散歩して歸つて來た。

『あら、もうお歸りなんですか』お篠は丁度貞子を寢かし付けてゐたところだつたので、横になつた儘で頭を少し擡げながら言つた。

『田舎も暫らく來ないうちに、矢つ張り變つてんのね。でも、淋しいわ。何てたつて。』お須磨は誰に言ふこともなく然う言つて、火鉢の傍へ坐つた。

『田舎は何うしてもねね』と、絢子は氣のない返辭をして『もう寢て？貞子は』淋しさうに我子の顏を見た。

『あの方も今夜は淋しいでせうね』お須磨は外でも何や彼やと白井の噂を絢子にしかけて、彼の女を困らせたが、宿へ歸つてもまた思ひ出すと云ふ風に。そんなことを言つた。

『其家庭教師つていふ女の人と何かぢやないでせうか。ねね、婆や』絢子が默つてゐるので、柏子抜けがしたようにお須磨はお篠の方へ話を持つて行つた。

しかし、お篠は何と返辭して可いか別らなかつた。實を云ふと『婆や』なぞと、絢子同様な呼方をされるのも好かなかつた。さう云ふ風に色目をもつて、而も餘計な辭說立てをするのも不快だつた。絢子の意中も察しられて、お篠は何時になく心よい返辭も出來なかつた。お須磨はしかし、そんな事に鈍感なのか、それとも皮肉るつもりなのか、それで、此話を打切らうとはしなかつた。

『子供さんだちの面倒もすつかり見てるつてこだし、年配から言つてもねね。奥さんが亡くなつてからだつて、可也になるんでせう？尤も殿方は女と違つて、そんなこと不自由はないけれども。ねね、絢子さん、あなた如何思つて？』

『私知りませんわ、そんなこと』遉の絢子も憤然として、素氣なく然う言つたが、相手が相手だけに直ぐ悪かつたと氣が付いて

『でも、あの方は、以前は決してそんな不品行な方ではありませんでしたわ。今は何うだか、知らないけども』と、少し顔色を柔げて、當らず觸らずの返辭をした。

『然うでせうともねね、白井さんに限つてそんな眼なことはございませんわ、決して』お篠も絢子の言葉に力を得て、白井の辯護をした。一つは、お須磨が絢子と白井の仲を、既に一種の色眼鏡で見てゐるらしいのを、不快に思ひながら、絢子に何か、そして、絢子の昔馴染の人を[illegible]言つてやれと云はぬ許りに、それとなし力を添へるのであつた。

『でも、昔馴染つてものは、また特別ね。懐しいもんですわね』

何か會話が杜切れたところで、お須磨がまたそんなことを言つた。ごつちにしても、白井と絢子のことに話を持つて行かうとするらしかつた。さうして其間にある意味を通はしてゐるのだつた。絢子はもう相手になつてゐるのが辛かつた。辛いと云ふより、馬鹿々々しかつた。聞くだけでも厭でならなかつた。ましてそんなことを一々返辭するのは、一層不快で腹立たしかつた。

『奥さま、あのまた闘球盤でも借りて參りませうか。何だか寂しうございますから』お篠は氣を利かしたつもりで、貞子の側を離れると、然う言つて絢子の方を見た。

『然うね、別にしたくもないけれど』

『やりませうよ、面白いわ。私も久振りだから、ねつ』お須磨は即座に絢子の言葉を遮つて、お篠を立たせた。

『あなたの旦那さまも淋しがつてらつしやるわ。だから私ね、好くお部屋へ行つたり、私の方へもお呼びするの。淺草にも一度參りませうつて、然う言ふんですけど、なかなかお伴さして下さらないわ。ほんとにお堅いのね』お須磨は暫らくすると、そんなことまで絢子に言つた。

絢子の頭には、急に今までとは別の不快な暗い雲がさつと現れた。しかし、彼女は素直に默つて俛いた。

人蔘王丈

京城本町壹●電話一四八〇、一八七〇番
㋡津村兄弟商會

酉の傳說(前承)

黄金の鷄

黄金の鷄も、世に永く傳へられるが、本朝俗諺志には、洲後國切戸文珠の内陣に黄金の鷄があつて、毎年元朝の初鷄に一聲鷄く。年籠りの參詣人が、この聲を聞くこ傳へ、その聲色は燒鷄に似て居ると云はれてゐる。『ありのまゝ』には浪花の豪商に淀屋某と云ふものがあつて、その家寶として、黄金の鷄があると云ひ囃されて居たが、多分黄金で、造つたものと想像してゐた。然るにその身上が滅びた後、玄孫の八幡屋某が、制度を犯して京都に任めるを幸ひ、或時彼に黄金の鷄のことを聞ねると、彼も未だ見たことはないが、親から聞いた所に依ると宋の徽宗皇帝の宸筆の鷄で、古錦襴で表装した横軸であつたさうだが、今では和州の郡山にあるさうだと答へたさうである。

鷄の空中戰爭

神皇正統錄には、元曆元年正月の二十日に、黒雲が鹿島の寶殿を覆ふて、四方が暗闇となり、御殿が大震動すると、鹿や鷄が忽ち群集した。そして彼の黒雲を見ると其中に一羽の鷄が居て、奇代の事だと云ひ囃したことがあるが、文類聚にも仙藥を嘗めて仙になつた淮南の王安が、登仙した跡に、仙藥の餘りが鼎中にあつたのを、犬や鷄が舐た所が、之等も亦飛昇して、鷄が雲の中に鳴き、犬が天の上に吠えた奇蹟がある。本朝通鑑等には、文德天皇の天安二年六月に、大變に雷雨があつて、左近衛大宅年麿が、北野で之れを見て居ると、稻荷神社の方に當つて、空中に二羽の鷄が、必死になつて鬪つて居る、その色は赤くて、羽毛の地に落ちるのも見ゐたが、遠く見ゐて近く近く、見ゐて遠く、捕捉するに由がなかつたと傳へる。

川柳 劍花坊選

○京城 士呂帽

秋の風國の女房を思ひ出し

評、何でもないつまらぬ句ですがこれがいろいろの道具入にして御覧なさい、昔から詩人は多くそれでほめられてゐます、川柳ではこれで淨山です、川柳はモウすこし深いところへ突込んで居ります。

○木浦 謙窓

カビのあるドテラが秋の風當て

評、原句は『秋風に褞袍干しけり謙窓』とありました、月並發句のやうな句です、川柳としては賞美しません

▲私は一生を村木商で終る積りで昨年六月渡鮮し目下知人の勧めにて某所に勤めていますが將來御取引なされてゐらるる御方に店員にでも御使ひ下さる方は有りませんでせうかお手數乍ら此欄にお知らせ下さい、なるべくなれば出合を望む者です(廿六歳の男)

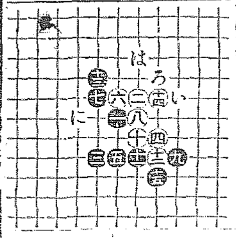
▲昨年の十二月中旬に龍山驛に降りマント一枚自惜して有りますから取りに來て下さい姓名は吉村と書いて有ります(龍山驛)

▲露語無學者様へ僕ぐ小生事日文露英通語でう書籍を所持致居候右書籍にて貴意適不適は小生不存候へ共右にて宜敷ごの義に候へば下記へ御來光被下候はゞ御譲り可致候(本町三ノ五六溝家)

▲一青年のお方に申上げます、あなたは英語の御勉強をなさろうとせられますか誠に結構な御考へです、僕は知るといふ程では勿論御座いませんが中學時代から英語が好きでしたから一つ御熱心なる方と余暇に少しづゝでもして忘れまいと思ふ者で御座いますが、あなたの御方針と如何なる事にたづさはつておらるゝかその辺の御都合を失禮ながら本欄まで御知らせ下さい(氣付生)

聯珠競技(第五十一回)

後手勝 初段 黑濱勝入 / 一級 原山正龍



△黑『十五』の後『いろは』の勝

○六段内田更石評 黑『九』甚だ悪し『十三』に止めるし、而して白『十』黑『十一』白『十二』譲の如くにして黑『十三』を『に』に打たば決す

汽車(時間表) 京釜線 / 同 / 湖南線 / 京義線 / 同 / 馬山線 / 京元線 / 黃海線 [illegible]

リン病速効藥 トリート

近來淋病の患者にして或種の藥品を單味にて用ふる人多し這は胃腸及び腎臓の疾患を誘起する副作用あり

トリートは淋病に對して速効快治の能力あり且副作用更になく實に完全にして最とも優良なる治淋劑なり

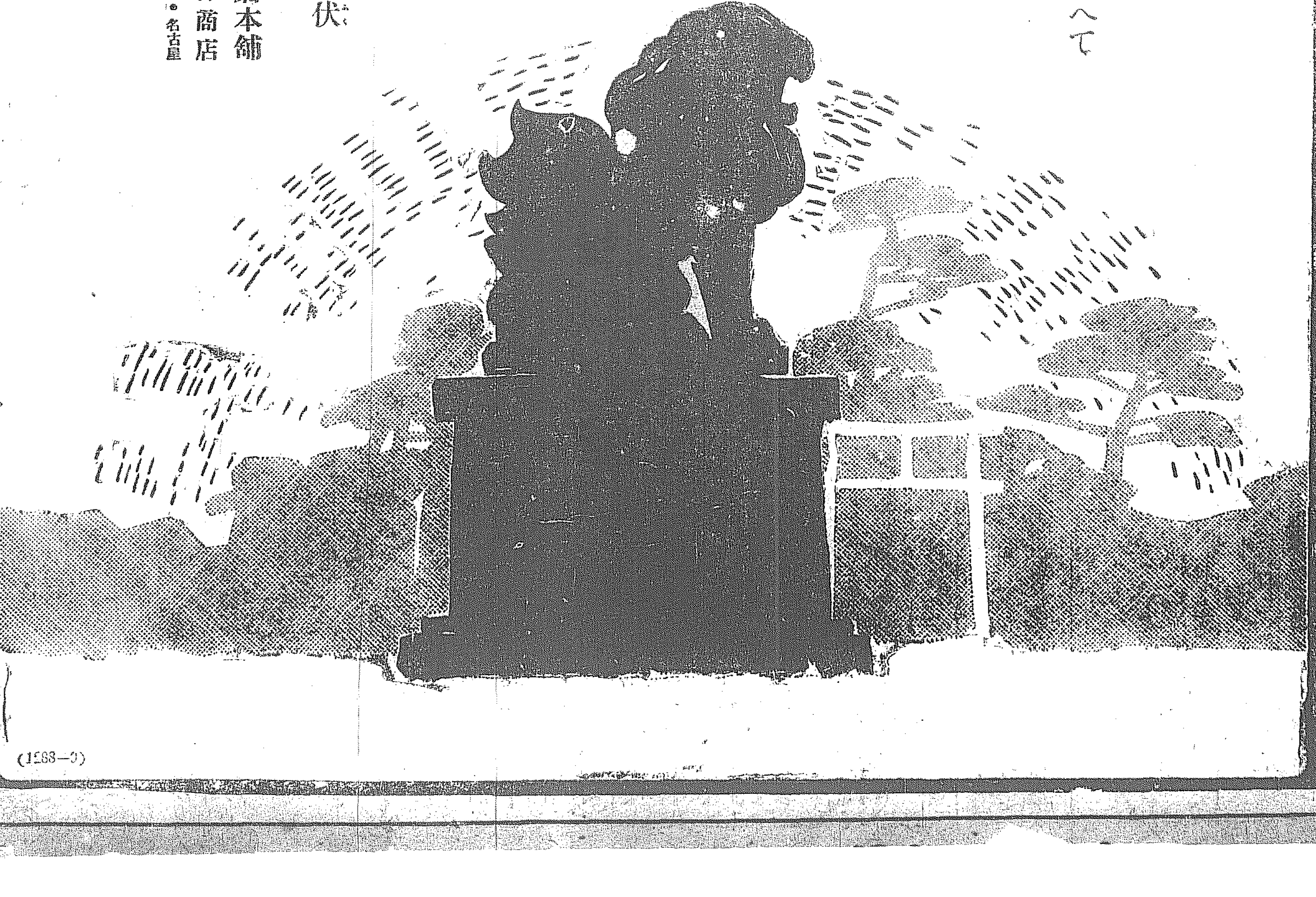
價 三日分 七日分 十五日分 壹圓 貳圓 四圓

大阪市堂島元現病
本舗 高橋盛大堂本店
同心齋橋筋博勞町
發賣 高橋盛大堂分店
東京市神田柳町
同 高橋盛大堂出張所
▲到る處の藥店にて販賣す

ライオン歯磨

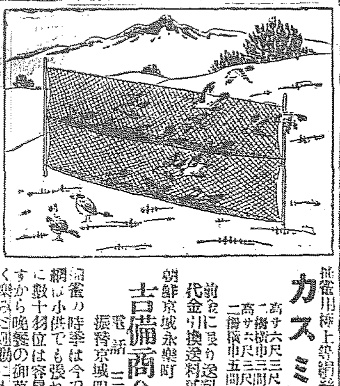
静なる新年を迎へて
茲に謹んで
各位の御健康を
奉祝候
冀くは本年
亦新なる發
展に特に
各位の御聲援
を願上候 拜伏

ライオン歯磨本舗
株式會社 小林商店
東京・大阪・名古屋



(1588—9)

最新刊
田山花袋 漂泊と夢想 一、二〇
字野浩二 美女 一、三〇
長與善郎 賴朝 一、三〇
島田清次郎 地上第三 二、〇〇
小泉鐵 心のふる郷 一、〇〇
吉田絃二郎 限 二、四〇
京城本町一 大阪屋號書店



捕雀用極上等網絲製
カスミ網
高サ六尺三尺 二間 三圓七十錢
二間樹市 二間
高サ六尺三尺 五間 六圓
二間樹市五間
前金にて送料負擔
代金引換送料貳拾錢
朝鮮京城永樂町
吉備商會網部
電話 三一四番
振替京城四三八番
雀の時季は今ですカスミ網は小供でも張れます一時に數十羽位は容易く捕れますから晩餐の御菜のみでなく樂みと運動にもなります

味噌の横綱
ほまれ味噌